

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	自然史・歴史博物館普及課
課長名	栗原
施策番号	
I - 1 - (2) - ⑤	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	博物館セカンドスクール事業				
事業概要	博物館を第二の学校と位置づけ、修学旅行・社会見学など学校教育の一環として、子どもたちの博物館利用の促進を図るものです。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		2,444 千円	千円		目金の金額
					課長 0.05 人 係長 0.50 人 職員 1.40 人
(人件費備考)					

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	各教育委員会等との連携を図りながら、校長会等での説明会を行い、セカンドスクール事業への理解を得ることができました。課題は県内においても来館実績が少ない地域があることです。	見直し内容 来館実績の分析から、どこの地域からの来館が少ないのかを分析して、その理由を検討し、積極的なPR活動を実施します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) 博物館を訪れる学校団体	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 博物館を第二の学校(教室)ととらえ、以下の3つの柱を掲げて学校教育現場と博物館の結びつきを強め、子どもたちの来館機会を創出し、新しい発見や感動を胸に社会科・理科への学習意欲を持たせます。 ①博物館への誘致事業 ②学校教育支援事業 ③家庭教育支援事業	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	学校団体誘致数					
	博物館を訪れる学校団体を増やすため、誘致活動を行い、学校団体来館数の確保に努めます。 (最終目標と目標年度)1,000団体 平成26年度		1,000 団体		%	
	学校関係入館者数					
修学旅行、社会見学等、総合的な学習の時間等での、学校関係者の博物館利用の促進を図ります。 (最終目標と目標年度)70,000人 平成26年度		70,000 人		%		

活動計画	どうやって目的を達成するか 修学旅行、社会見学等、総合的な学習の時間等での博物館利用の促進を図るため、来館状況の分析に基づく誘致活動を行います。特に、県内の来館実績の少ない地域へのPR活動の強化を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由	
	誘致活動延べ日数					
	修学旅行、社会見学等、総合的な学習の時間等で博物館を利用してもらえるように、旅行会社や教育関連施設に対する誘致活動を実施します。		10 日		%	
					%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	文学館
課長名	米満
施策番号	
I - 1 - (2) - ⑤	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
()	
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	文学館普及研究費				
	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介し、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信していきます。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額
	20,452 千円	千円			課長 0.50 人 係長 0.50 人 職員 0.25 人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	企画展のラインナップを見直し、文学館の本来目的である北九州ゆかりの文学者に関する自主企画展とともに、より集客効果の高い展覧会の開催に取り組みます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
	市民	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介し、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信することにより、大人から子どもまで文学に親しむ機会が拡大し、豊かな感性の育成と教養文化の向上に繋がります。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	夏休み企画展 入館者数		12,000 人	%		
	文学館の利用を促進するとともに、子どもの読書・創作活動の意欲を高め、豊かな感性を培うことを目的として行っている企画展のため、その入館者数を成果としました。 (最終目標と目標年度) 12,000人以上の入館者数 平成26年度					
	あなたにایتたくて生まれてきた詩コンクール作品応募数		1,000 点	%		
	子どもの読書・創作活動の意欲を高め、豊かな感性を培うことを目的として行っている詩のコンクールのため、その応募数を成果としました。 (最終目標と目標年度) 毎年度1,000人以上の応募者数 平成26年度					

活動計画	どうやって目的を達成するか	平成26年度は、世代を超えて広い人気を持つ絵本シリーズの企画展を開催し、親子で楽しめる企画展を実施します。 第5回目となる、「あなたにایتたくて生まれてきた詩コンクール」では、近隣市町村へも広報を行い、応募者数増加を目指します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由	
	夏休み企画展 関連イベント開催回数	回	3 回	%		
	企画展をさらに楽しむとともに、来館者を増やすため、関連イベント(講演会等)の開催件数を活動指標としました。					
				%		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	市民活動推進課
課長名	神野
施策番号	
I - 3 - (2) - ②	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	NPO・ボランティア活動促進事業				
事業概要	NPO・ボランティア活動等の市民活動促進や、市民活動団体等と行政の協働促進のため、市民活動や協働等に関する相談受付や情報提供、研修・啓発事業を行うとともに、コミュニティのひとみらいプレイスの他施設と連携して、市民活動を担う人づくりを行います。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		12,675 千円	千円		目金の金額
					課長 0.30 人 係長 0.60 人 職員 1.50 人
					20,700 千円
					(人件費備考)

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	平成24年度まで順調に成果が上がっているため、これまでの方向で引き続き実施していきます。	見直し内容 これまで実施してきた事業の内容や実施方法のより一層の充実を図ります。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 市民及び市民活動団体等	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 地域の課題に自ら対応し、市民が自発的、主体的に公益活動に参画する市民社会の形成に向けて、まちづくりの重要な担い手であるNPOやボランティア団体などの活動を促進します。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	新規設立NPO法人数(累計)		法人(累計)		
	市民活動団体を主体的に発足させた市民活動団体(NPO法人)数です。 (最終目標と目標年度) 28年度75法人		45	%	
	NPOとの協働事業数		170 件	%	
	NPOの専門性や先駆性を生かし、行政と協働で事業を行った件数です。 (最終目標と目標年度)28年度190件				

活動計画	どうやって目的を達成するか	市民活動団体の発展段階別に応じたセミナーを開催し、内容を活動団体が実践につなげていきやすいものなどに見直します。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)				
	講座実施数		5 講座	%	
	これから市民活動に携わりたい市民への啓発や、市民活動に取り組む団体の組織や活動を強化するための講座を開催します。				
	広報誌などの発行		12 回	%	
	市民活動に取り組む団体等に、他団体の活動やイベント、助成金など、活動に役立つ情報を提供するため、広報誌やニュースレターを発行します。				

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	消費生活センター
課長名	愛甲
施策番号	II - 1 - (1) - ②
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他

事業概要					
事業名	消費者啓発の推進				
	消費者に対する啓発活動を推進するとともに、消費者が自主性を持って健全な消費生活を営むことができるよう支援します。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額
	21,345 千円	千円			8,075 千円
			課長	0.05 人	(人件費備考)
			係長	0.30 人	
			職員	0.60 人	

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 市民向けの啓発講座は予定通り実施していますが、さらなる啓発活動の取り組みが求められています。	見直し内容	外出する機会が少ない高齢者にも情報が伝わるようなアプローチを強める取り組みに努めます。また、消費生活に関する知識を習得し、適切な行動に結びつけることのできる賢い消費者の育成に努めます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象 (誰を、何を)	目指す状態 (どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民	自主的に問題意識を持つことにより、消費者被害を受けない、被害を拡大させない状態にします。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由	
	消費生活センターの認知度		90 %	%		
	消費者トラブル、多重債務問題及び悪質商法被害等の未然防止と拡大防止のため、消費者啓発施策の推進により、相談窓口である消費生活センターの認知度90パーセント以上を維持します。 (最終目標と目標年度) 90%以上を維持					
	消費者トラブルを解決した市民の割合 実際に消費者トラブルや多重債務問題に遭遇した人の内、解決に至った市民の割合を増やします。 (最終目標と目標年度) 前年度を上回る		前年を上回る程度	%	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 出前講座などの消費者教育の充実を図り、トラブルの実態をいち早く周知することで、被害防止に取り組めます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	教育講座等の参加者数		1,000 人
	多くの市民へ教育講座等の講座の実施に努めます。		
	消費者トラブル法律無料相談会の実施回数		100 回
	消費者に法律相談を利用する機会を定期的に提供します。		

【Check】評価 (分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心推進課
課長名	福本
施策番号	
II - 1 - (3) - ①	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
()	
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	(仮称)北九州市安全・安心条例普及・啓発事業				
	安全・安心を実感できるまちの実現のため、(仮称)安全・安心条例を制定し、本条例の制定趣旨・目的等について理解を深めるための周知・啓発活動を積極的に行います。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		5,000 千円	千円		目安の金額
					課長 0.10 人
					係長 0.35 人
					職員 1.50 人

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	本市の安全・安心まちづくりは、これまで地域団体が中心となり活発に行われてきましたが、活動参加者の固定化や高齢化の進展、少年の非効率が依然高い水準にあるなど多くの課題があり、市民、事業者、行政が本市の新たな「安全・安心まちづくり」を共に考え、一丸となって取り組む必要があります。	見直し内容	—
----	-------------------	--	-------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	成果の状況評価理由	
	市民、事業者、行政、学校	本条例の制定を機に、条例の制定趣旨・目的等を理解し、本市の新たな「安全・安心のまちづくり」を共に考え、それぞれの役割を認識し、一丸となって取り組みながら、安全・安心に関する意識の高揚を図ります。		代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	市民が感じる治安状況(体感治安)		対前年度増		
	市民意見調査アンケートで、市民が「とても安全」「比較的安全」と回答する割合の向上を目指します。			%	
	(最終目標と目標年度) 対前年度増 平成28年度			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	多くの市民等に本条例の制定趣旨・目的を理解してもらうため、ポスター、チラシ等による広報・啓発活動を行うほか、「記念シンポジウム」、「市民総決起大会」などを開催します。また、市民、事業者、市職員、教職員向けの研修を徹底し、本条例を踏まえた施策の推進を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	安全・安心条例出前講演		24 回	%	
	安全・安心条例の周知を図るため、市民、事業者及び市職員並びに教職員を対象にした出前講演、研修を実施します。			%	
	若者及び就労世代への啓発活動の年間実施回数		12 回	%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心推進課
課長名	福本
施策番号	
II - 1 - (3) - ①	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	安全・安心力向上促進事業				
事業概要	本市の犯罪発生件数は、減少傾向にあるとはいえ、体感治安の十分な改善には至っておらず、安全・安心に関する意識の高揚や情報提供が強く求められています。このため、犯罪被害を防止する上で特に配慮すべき子ども・女性・高齢者等への啓発活動強化や小学校における「地域安全マップづくり」の拡充を図るとともに、GISを活用した防犯情報などの提供により安全・安心を実感できるまちの実現を目指します。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		12,000 千円	千円		目金の金額
					課長 0.10 人 係長 0.35 人 職員 1.50 人
					15,900 千円

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 子ども、女性、高齢者、障害者が犯罪に巻き込まれ被害となるケースが増加しています。さらに犯罪発生箇所などの情報が市民に浸透していないなどの課題があり、今後、効果的な防犯対策を展開し、市民の体感治安の向上を図る必要があります。	見直し内容	

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 市民	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 安全・安心意識の高揚を図ることで、犯罪被害を未然に防止するとともに、安全・安心に関する情報を誰もが知ることができるような仕組みづくりを行い、安全・安心を実感できるまちの実現を目指します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	刑法犯認知件数 北九州市内の刑法犯認知件数です。平成14年の4万件をピークに、毎年減少しています。今後も毎年の件数減を目指します。 (最終目標と目標年度) 件数減(前年比較) 平成28年度		件数減 (前年比較)	%	
	市民が感じる治安状況(体感治安) 市民意見調査アンケートで、市民が「とても安全」「比較的安全」と回答する割合の向上を目指します。 (最終目標と目標年度) 対前年度増 平成28年度		対前年度増	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 「地域安全マップづくり」をできるだけ多くの小学校で実施し、子どもの危機回避能力やコミュニケーション能力の向上を図ります。実施体制を整えるため、大学生ボランティアや小学校教諭向けの指導者養成講座を実施します。また、GIS稼働により、犯罪被害防止に有益新たな情報ツールを提供します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	地域安全マップづくり実施校 マップづくり指導者養成講座を実施し、実施体制を整え、市内のより多くの小学校で「地域安全マップづくり」を実施します。		7 校
	GISシステムを活用した防犯情報のアクセス件数 市民に身近な街頭犯罪情報等を本市のGISシステムに集約し、犯罪発生情報マップとしてインターネット等を通し、市民向けに犯罪発生状況の提供を実施し、アクセス件数の増加を目指します。		12,000 件
			%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心推進課
課長名	福本
施策番号	
II - 1 - (3) - ①	
■ 直営	<input type="checkbox"/> 補助金
<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 負担金
■ 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理
<input type="checkbox"/> その他	()

事業概要					
事業名	みんなで守る安全・安心な地域づくり推進事業				
	「生活安全パトロール隊」等の市民の自主的な防犯活動により、本市の犯罪発生件数は減少傾向にあります。しかし、隊員の高齢化や固定化といった課題を抱える地域が多いのが現状です。このため、生活安全パトロール隊へのさらなる活動支援や安全・安心功労者表彰制度の新設により、地域防犯活動の活発化を図るとともに、これまで活動に参加しなかった方々に働きかけ、参加者の拡大を図ります。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目金の金額	課長 0.10 人
	16,500 千円	千円		15,900 千円	係長 0.35 人 職員 1.50 人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	本市の安全・安心まちづくりは、これまで地域団体が中心となり活発に行われてきましたが、地域防犯活動参加者の固定化・高齢化が進んでいることから、今まで活動に参加しなかった若い世代等に働きかけ、地域防犯活動の参加者拡大を図る必要があります。	見直し内容

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民	地域防犯活動への参加者拡大を促進することにより、安全・安心を実感できるまちの実現を目指します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	生活安全パトロール隊新規加入者数		新規加入者数増(前年比較)	%	
	市民が感じる治安状況(体感治安)		対前年度増	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	安全・安心を実感できるまちを実現するためには、地域の多くの方々による安全・安心活動の取組みが重要です。そのためにも、地域の自主防犯組織「生活安全パトロール隊」へのさらなる活動支援や「1万人の防犯パトロール大作戦」の開催、安全・安心に向けて特に功績が認められる個人・団体に対する表彰を行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	生活安全パトロール隊による年間パトロール平均参加人数		1,000 人	%	
	「1万人の防犯パトロール大作戦」参加者数		10,000 人	%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心都市整備課
課長名	松本
施策番号	II - 1 - (3) - ①
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
課長	0.20 人
係長	0.30 人
職員	0.70 人

事業概要														
事業名	安全・安心を高める防犯環境整備事業													
	II - 1 - (3) - ①													
事業概要	防犯の視点を加えた施設整備を市内に拡げていくためのモデル事業であり、平成26年度は市内1校区を選定し実施します。対象施設は、道路、公園、学校(外構)、公共施設を中心に防犯まちづくりという新たな視点で点検・ワークショップを実施し、その結果を反映させながら、より安全・安心な施設整備を目指します。また、防犯まちづくりの専門家(大学講師等)を招き、施設整備に係る行政担当者やコンサルタント、建設会社等を対象として、犯罪が起こりにくい環境づくりの考え方の周知促進を図るためのシンポジウム等を開催します。													
	(事業費備考) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>事業費</th> <th>26年度当初予算額</th> <th>26年度執行額</th> <th>人件費</th> <th>目安の金額</th> </tr> <tr> <td></td> <td>2,900 千円</td> <td></td> <td></td> <td>10,550 千円</td> </tr> </table>					事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	人件費	目安の金額		2,900 千円		
事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	人件費	目安の金額										
	2,900 千円			10,550 千円										
コスト					(人件費備考)									

【Action】改善		
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 犯罪の未然防止や犯罪の起こりにくい環境づくりなど防犯の視点を加えた施設整備を市内に拡げていくためのモデル事業の実施や、犯罪が起こりにくい環境づくりの考え方の周知を図るための取り組みを推進する必要があります。	見直し内容 —

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民	犯罪の起こりにくい環境整備の促進を図り、市民が安全で安心して暮らすことのできるまちの実現を目指します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	刑法犯認知件数		件数減(前年比較)		
	北九州市内の刑法犯認知件数です。平成14年の4万件をピークに、毎年減少しています。今後も毎年の件数減を目指します。 (最終目標と目標年度) 件数減(前年比較)平成28年度			%	
	市民が感じる治安状況(体感治安)		対前年度比増		
市民意識調査アンケートで、市民が「とても安全」「比較的安全」と回答する割合の向上を目指します。 (最終目標と目標年度) 対前年度比増(平成28年度)		%			

活動計画	市内1校区のモデル校区を選定し、防犯まちづくりの視点を加えた点検及びワークショップを、地域の方々と協働で実施します。その結果に基づいた整備・改修等を実施し、安全・安心に配慮した環境整備を行い、犯罪の起こりにくい市民が安全で安心して暮らせるまちづくりの実現を目指します。また、施設整備に係る行政担当者やコンサルタントなどへの周知促進を図るため、防犯まちづくりの専門家を招いたシンポジウム等を開催します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	市内1校区におけるモデル事業の実施		1 校区		
	防犯まちづくりの視点を加えた点検及びワークショップを、地域の方々と協働で実施します。			%	
	犯罪が起こりにくい環境づくりの考え方に関するシンポジウム等の参加者数		500 人		
施設整備の行政担当者やコンサルタント等を対象として、防犯まちづくりの専門家(大学教授等)を招いたシンポジウム等を開催し、施設等の計画や設計の担当者に犯罪機会論の考え方の周知を図ります。		%			

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心推進課
課長名	福本
施策番号	II - 1 - (3) - ②
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業概要					
事業名	地域防犯対策事業				
	本市の犯罪発生件数は、減少傾向にあるとはいえ、体感治安の十分な改善には至っておらず、防犯意識の高揚や自主的な防犯活動への取り組みが強く求められています。このため「生活安全パトロール隊活動促進事業」などにより、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図ります。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	人件費	目金の金額
		36,681 千円	千円		課長 0.20 人 係長 0.40 人 職員 1.50 人

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	これまでの地域防犯対策事業に加え、安全・安心推進員の配置などにより、防犯意識のさらなる向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指します。
----	-------------------	-------	--

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
地域住民		「地域の安全は、地域で守る」という地域住民の防犯意識を高め、地域における自主防犯活動の継続を図ります。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	街頭犯罪件数		件数減(前年比較)	%	
	北九州市内の街頭犯罪件数です。平成14年の約2万8千件をピークに、毎年減少しています。今後も毎年の件数減を目指します。 (最終目標と目標年度) 件数減(前年比較)平成28年度				
	市民が感じる治安状況(体感治安)		対前年度増	%	
	市民意見調査アンケートで、市民が「とても安全」「比較的安全」と回答する割合の向上を目指します。 (最終目標と目標年度) 対前年度増 平成28年度				

活動計画	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
どうやって目的を達成するか	安全・安心を実感できるまちを実現するためには、市民による自主的な防犯活動の取り組みが重要です。地域の自主防犯組織「生活安全パトロール隊」による防犯パトロールや登下校時の子どもの見守りなどの活動を促進します。	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	26年度実績(達成率)
	生活安全パトロール隊による年間パトロール平均参加人数	1,000 人
	各校区の生活安全パトロール隊による、自主防犯活動参加者の1年間の合計値を全校区(131校区)で割った、1校区当たりの平均参加人数です。	%
	生活安全パトロール隊による自主防犯活動の実施回数	200 回
	各校区の生活安全パトロール隊による、自主防犯活動実施回数の1年間の合計値を全校区(131校区)で割った、1校区当たりの平均実施回数です。	%

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心都市整備課
課長名	松本
施策番号	
II - 1 - (3) - ②	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	
課長	0.20 人
係長	0.40 人
職員	0.60 人

事業概要					
事業名	防犯灯設置事業				
事業概要	夜間における犯罪の発生を未然に防止し、公衆の通行の安全を図るため地域と市が協力しながら、防犯灯を設置します。防犯灯の設置にあたっては、LED防犯灯の設置促進を図り、町内会等の地域の防犯灯の設置のため費用の一部を助成し、明るく安心して生活できるまちづくりを推進します。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
	155,518 千円	千円			10,800 千円

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	防犯灯について、現灯数が維持され、LED化については計画以上に進捗が図られています。また、犯罪発生件数も減少するなど、成果の状況、活動状況、いずれも順調に進んでいます。	見直し内容 LED化が進むことで維持管理経費(電気代、球替え等)が大幅に減少することから、経済性・効率性の向上に寄与する事業です。引き続き、防犯灯のLED化を促進します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 市民	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 夜間における犯罪の発生を未然に防止し、公衆の通行の安全を図るため市が防犯灯を設置します。また、地域が設置する防犯灯の費用の一部を補助することで防犯灯の設置促進を図り、市民が安全で安心して暮らすことのできる明るいまちづくりを目指します。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	刑法犯認知件数		件数減 (前年比較)		
	北九州市内の刑法犯認知件数です。平成14年の4万件をピークに、毎年減少しています。今後も毎年の件数減を目指します。 (最終目標と目標年度) 件数減(前年比較)平成28年度			%	
	市民が感じる治安状況(体感治安)		対前年度増		
市民意識調査アンケートで、市民が「とても安全」「比較的安全」と回答する割合の向上を目指します。 (最終目標と目標年度) 対前年度増(平成28年度)		%			

活動計画	どうやって目的を達成するか	地域が設置する防犯灯については、町内会等の所属する連合会及びまちづくり協議会、未加入団体に対し、設置費の一部を補助し、現灯数を維持します。平成23年度からは、10年間を目標にLED照明への転換を図ります。LED化により維持管理経費が減少するため、町内会等の負担が軽減されます。また、蛍光灯と比べて球切れがないので、夜間の安全性が向上します。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	本市設置及び地域設置防犯灯の管理灯数		現状維持		
	本市が設置している防犯灯数(約14,600灯)については、効率的な配置のもと現灯数を維持し、また、地域が設置している防犯灯数(約53,400灯)については、補助制度を継続し現灯数を維持します。			%	
	防犯灯のLED化灯数		6,800 灯		
毎年度、全灯数の約1割をLED化します。		%			

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心都市整備課
課長名	松本
施策番号	II - 1 - (3) - ②
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他

事業概要					
事業名	防犯カメラ事業				
事業概要	暴力団犯罪をはじめ街頭犯罪を抑止し、市民生活等の安全・安心を確保するため、人が多く集まる繁華街や幹線道路に既に設置している防犯カメラの適正な設置、運用を行います。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		105,000 千円	千円		目金の金額 課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.30 人 (人件費備考)

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	犯罪の抑止と市民の安心感の醸成、ひいては本市の安全・安心なまちづくりを進めるため、平成24年度に設置した158台の防犯カメラの適正な運用とともに、凶悪事件等の発生などにより市民や事業者等からのニーズがある場合、県警察と協議の上、必要な箇所に新たな防犯カメラの設置を検討します。	見直し内容 本市の安全・安心のさらなる取り組みの1つとして、警察等での設置だけではなく十分な地域や、市民や事業者等からのニーズがある地域で市が必要と判断する箇所に、県警察と協議の上、防犯カメラを設置します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 市民	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 市内主要幹線道路および繁華街など人の集まる場所に防犯カメラを設置することにより、犯罪の起きにくい安全・安心なまちづくりを推進するとともに、重大犯罪等の抑止を図ります。		成果の状況 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	繁華街における犯罪発生件数 小倉北区繁華街では小倉中央小学校区、八幡西区の繁華街では黒崎中央小学校区の犯罪発生件数の減少を目指します。 (最終目標と目標年度) 件数減(前年比較)平成28年度		件数減 (前年比較)	%	
	市民が感じる治安状況(体感治安) 市民意識調査アンケートで、市民が「とても安全」「比較的安全」と回答する割合の向上を目指します。 (最終目標と目標年度) 対前年度増(平成28年度)		対前年度増	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 市内主要幹線道路および小倉北区堺町・鍛冶町・紺屋町地区等、八幡西区黒崎・熊手地区の繁華街に設置した防犯カメラを運用します。また、さらなる安全・安心の確保のため防犯カメラを設置します。	活動の状況 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	防犯カメラの運用 主要幹線道路78台、繁華街80台の防犯カメラを運用します。		現状維持	%	
	防犯カメラの増設 市内6箇所程度、県警察と協議しながら防犯カメラを設置します。		6箇所	%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心推進課
課長名	福本
施策番号	
II - 1 - (3) - ③	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	暴力追放の推進				
事業概要	社会全体で暴力団を排除する取り組みを推進するため、事業者・市民の暴排意識の高揚と暴力団排除の重要性についての認識を高める「研修開催等の啓発事業」、「市民暴排の日記念行事開催」、「暴力追放強調月間による集中的な広報啓発」などを実施し、官民一体となって取り組みます。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額
	12,321 千円	千円		8,275 千円	課長 0.10 人 係長 0.15 人 職員 0.75 人
(人件費備考)					

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 暴追対策が「以前と比べ、進んでいる」と回答する市民の割合が52%とようやく過半数に達しましたが、今後も着実に暴力追放運動を息の長い取り組みとして推進していく必要があります。	見直し内容	暴力追放啓発強調月間等を通して、暴力団排除の重要性についての認識を深めるとともに、暴排気運の醸成等を図ります。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 北九州市	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 事業者や市民が警察・行政とともに一丸となって高い暴排気運の下、暴力追放に取り組める環境を目指します。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	暴追対策に対する市民の評価		対前年度 増		
	市民意識調査項目の「北九州市の暴力追放対策が、以前と比べ進んでいると思いますか。」の質問に「進んでいる」「少し進んでいる」と回答する市民の割合を高めます。 (最終目標と目標年度) 市民が安全に、安心して暮らせる社会の確保、社会経済活動の健全な発展が暴力団を意識せずに感じられる状態			%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 暴力追放意識の高揚を図るため、暴追大会や研修会等を開催し、啓発活動の推進を図ります。また、8月を暴力追放啓発強調月間と位置づけ、暴力追放広報啓発を集中して実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	暴追大会や研修会等の実施開催		12 回
	暴追大会、研修会・出前講演等の開催により、暴力追放啓発活動を推進し、暴力追放意識の高揚を図ります。		
	北九州市民暴力追放総決起大会の参加者数		5,000 人
市民の暴力追放意識の高揚を目的として、「市民暴排の日」に北九州市民暴力追放総決起大会を開催します。また、各区においても暴力追放大会を開催します。			

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心相談センター
課長名	岩永
施策番号	
II - 1 - (3) - ③	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
()	
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	民事介入暴力相談事業				
	市民生活への暴力団等の介入を排除し、安全・安心なまちづくりを図るため、民事介入暴力相談を実施します。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		26,743 千円			
		目金の金額	課長	0.20 人	
		4,300 千円	係長	0.20 人	
			職員		

【Action】改善			
課題	H24年度の 評価結果 を受けて の課題	暴追対策が「以前と比べ、進んでいる」と回答する市民の割合が52%とようやく過半数に達しましたが、今後も着実に暴力追放運動を息の長い取り組みとして推進していく必要があります。なお、20歳代の割合が低い傾向が見られます。	見直し内容
			引き続き、警察や弁護士と連携強化を図り、問題解決を促進します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民	市民生活への暴力団等の介入を排除し、安全・安心なまちづくりを図ります。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	暴追対策に対する市民の評価		対前年度増 件		
	市民意識調査項目の「北九州市の暴力追放対策が、以前と比べ進んでいると思いますか。」の質問に「進んでいる」「少し進んでいる」と回答した市民の割合を高めます。 (最終目標と目標年度)市民が安全に、安心して暮らせる社会の確保、社会経済活動の健全な発展が感じられる状態			%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって 目的を達成するか	常駐の専門の相談員による民事介入暴力相談を実施し、警察や弁護士と連携し、問題の解決を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	民事介入暴力相談の実施		適切な相談の実施		
	専門の相談員により、適切な相談を実施し、問題の解決を図ります。			%	
				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心都市整備課
課長名	松本
施策番号	
II - 1 - (3) - ④	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要																								
事業名	交通安全推進事業																							
	第8次交通安全計画に基づき、重点項目について啓発を実施します。 生涯にわたる交通安全教育及び効果的な広報啓発活動により、市民に広く交通安全思想を普及し、交通事故防止を図ります。																							
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額																		
		6,193 千円	千円			5,400 千円																		
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">課長</td> <td style="width: 15%;">0.10 人</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>係長</td> <td>0.20 人</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>0.30 人</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>							課長	0.10 人					係長	0.20 人					職員	0.30 人				
課長	0.10 人																							
係長	0.20 人																							
職員	0.30 人																							

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	交通事故発生件数、交通事故死者数とも前年比較で減少しており、目標は達成したものの、高齢者の死亡事故割合が増加傾向にあることや交通事故発生件数はまだ高い水準にあり、更なる啓発が必要です。	見直し内容 これまで以上に関係機関、団体との連携を強化し交通安全運動に取り組めます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民	交通事故死者数を減少させることはもちろん、交通事故件数自体の減少に取り組むことによって、市民に交通ルール・マナーの徹底を図り、安全で安心なまちを目指します。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由	
	交通事故発生件数(警察統計のため暦年でカウント)					
	第8次北九州市交通安全計画(平成23年度～平成27年度)に基づき、各団体・関係機関が連携して交通安全対策に取り組むことにより、交通事故の発生件数の減少を目指します。 (最終目標と目標年度) 8,000件以下 平成27年			件数減(前年比較)	%	
	交通事故死者数(警察統計のため暦年でカウント)					
	第8次北九州市交通安全計画(平成23年度～平成27年度)に基づき、各団体・関係機関が連携して交通安全対策に取り組むことにより、交通事故死亡者数の減少を目指します。 (最終目標と目標年度) 22人以下 平成27年					

活動計画	どうやって目的を達成するか	平成23年度中に策定した第8次北九州市交通安全計画に基づいて、その重点項目である「自転車の安全確保」、「高齢者の安全確保」、「飲酒運転の撲滅」に取り組めます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	
	高齢者に対する交通安全教室参加者数				
	高齢者の交通事故を防止するため、老人クラブ等と連携し、高齢者が参加するイベント等で巡回交通安全教室を実施します。			31,000 人	%
	小学校等での交通安全教室参加者数				
	学校や地域と連携し、歩行者としての知識や自転車のルールなどを習得するための交通安全教室を実施します。			27,000 人	%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心都市整備課
課長名	松本
施策番号	II - 1 - (3) - ④
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他

事業概要					
事業名	交通安全センター管理運営				
	市立交通安全センターを管理するとともに、交通公園内外における交通ルール・マナーの徹底を図り、自転車の安全運転を促進します。 指定管理期間 平成26年度～平成30年度 指定管理者 タウンモービルネットワーク				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額
	27,573 千円	千円			0 千円
				課長 人	係長 人
					職員 人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	交通事故の発生件数、事故死者数とも前年比較で減少しているものの、全国的にも自転車のルールの遵守、マナーの向上が求められています。	見直し内容 交通安全教室などの内容を充実させることで、交通安全思想の普及を図ります。また、全国的に自転車の安全利用が課題となっている中、平成25年度に導入した「自転車シミュレーター」を活用するなど、交通公園における交通安全教育の推進に取り組みます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民	交通事故発生件数を減少させることはもちろん、自転車に関連する交通事故の発生件数の減少に紐づくことにより、市民に自転車のルール・マナーの徹底を図り、安全で安心なまちを目指します。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由	
	交通事故の発生件数(警察統計のため暦年でカウント)		8,000件以下			
	第8次北九州市交通安全計画(平成23年度～平成27年度)に基づき、各団体・関係機関が連携して交通安全対策に取り組むことにより、交通事故の発生件数の減少を目指します。 (最終目標と目標年度) 8,000件以下 平成27年				%	
	自転車関連交通事故の発生件数(警察統計のため暦年でカウント)		件数減(前年比較)			
	第8次北九州市交通安全計画(平成23年度～平成27年度)に基づき、各団体・関係機関が連携して交通安全対策に取り組むことにより、自転車に関連する事故の発生件数の減少を目指します。 (最終目標と目標年度) 件数減(前年比較)平成28年度				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 学校へ積極的に働きかけを行い、交通安全教室の開催数の増加に取り組んでいきます。また、子どもたちが「自転車運転免許証」を持ちたいという気持ちになるように制度の充実を図っていきます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	交通公園入場者数		187,715 人
	交通公園の入場者を増加させることで、自転車をはじめとした交通ルールの周知、遵守やマナーの改善を図ります。		
	安全教室の開催数		508 回
	警察等と連携して、交通公園や小学校等での交通安全教室を開催します。		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心都市整備課
課長名	松本
施策番号	II - 1 - (3) - ④
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業概要					
事業名	交通事故のないまちづくり推進事業				
	第8次交通安全計画に基づき、重点項目について啓発を実施します。自転車利用のルール周知とマナー向上啓発のため「チャレンジ！チャリマスター(自転車ルール検定)」推進事業を実施することで、自転車による交通事故の発生を抑制します。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	人件費	目安の金額
		2,800 千円	千円		5,400 千円
					課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.30 人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	これまで以上に関係機関、団体との連携を強化し、中学校を対象とした自転車ルール検定を実施して、自転車の安全利用の促進に取組みます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民	市民に自転車のルール・マナーの徹底を図り、自転車が関連する交通事故の発生件数を減少させることで、安全で安心なまちを目指します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	自転車関連交通事故の発生件数(警察統計のため暦年でカウント)		件数減(前年比較)		
	第8次北九州市交通安全計画(平成23年度～平成27年度)に基づき、各団体・関係機関が連携して交通安全対策に取り組むことにより、自転車が関連する事故の発生件数の減少を目指します。 (最終目標と目標年度) 件数減(前年比較)平成28年度				%

活動計画	どうやって目的を達成するか	自転車利用のルール周知とマナー向上啓発のため、中学生を対象とした自転車交通ルール検定「チャレンジ！チャリマスター」を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	自転車交通ルール検定参加者数(中学校1年生)		2,600 人		
	警察や教育委員会と連携して、自転車交通ルールをテスト形式で学習する「チャリマスター検定」を実施します。				%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心推進課
課長名	福本
施策番号	
II - 1 - (3) - ⑤	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	()

事業概要					
事業名	地域防犯対策事業				
事業概要	本市の犯罪発生件数は、減少傾向にあるとはいえ、体感治安の十分な改善には至っておらず、防犯意識の高揚や自主的な防犯活動への取り組みが強く求められています。このため「生活安全パトロール隊活動促進事業」などにより、市民の防犯意識を高め、地域住民の自主防犯活動を促進し、安全・安心を実感できるまちの実現を図ります。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		36,681 千円	千円		目金の金額
					課長 0.20 人 係長 0.40 人 職員 1.50 人
					(人件費備考)

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	本市の安全・安心まちづくりは、これまで地域団体が中心となり活発に行われてきましたが、活動参加者の固定化や高齢化が進んでいることから、自主防犯活動の維持・継続を図る必要があります。	見直し内容
			これまでの地域防犯対策事業に加え、安全・安心推進員の配置などにより、防犯意識のさらなる向上と自主防犯活動の一層の促進を図り、安全で安心なまちづくりを目指します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 地域住民	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 「地域の安全は、地域で守る」という地域住民の防犯意識を高め、地域における自主防犯活動の継続を図ります。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	街頭犯罪件数 北九州市内の街頭犯罪件数です。平成14年の約2万8千件をピークに、毎年減少しています。今後も毎年の件数減を目指します。 (最終目標と目標年度) 件数減(前年比較)平成28年度		件数減(前年比較)	%	
	市民が感じる治安状況(体感治安) 市民意見調査アンケートで、市民が「とても安全」「比較的安全」と回答する割合の向上を目指します。 (最終目標と目標年度) 対前年度増 平成28年度		対前年度増	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 安全・安心を実感できるまちを実現するためには、市民による自主的な防犯活動の取り組みが重要です。地域の自主防犯組織「生活安全パトロール隊」による防犯パトロールや登下校時の子どもの見守りなどの活動を促進します。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	生活安全パトロール隊による年間パトロール平均参加人数 各校区の生活安全パトロール隊による、自主防犯活動参加者の1年間の合計値を全校区(131校区)で割った、1校区当たりの平均参加人数です。		1,000 人	%	
	生活安全パトロール隊による自主防犯活動の実施回数 各校区の生活安全パトロール隊による、自主防犯活動実施回数の1年間の合計値を全校区(131校区)で割った、1校区当たりの平均実施回数です。		200 回	%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	地域振興課
課長名	杉本
施策番号	
II - 3 - (4) - ①	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	戦時資料展示コーナー管理運営事業				
事業概要	本事業は、市民からご寄贈いただいた戦時下の資料を保管、展示することにより、北九州市立埋蔵文化財センター内に開設した戦時資料展示コーナーにおいて、戦争がもたらした惨禍と平和の尊さを多くの市民に理解していただくものです。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		1,485 千円	千円		目金の金額
					課長 0.03 人 係長 0.05 人 職員 0.05 人
					1,220 千円
					(人件費備考)

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	市内小学校をはじめとして、区役所や生涯学習センターへ案内チラシの配布を行うことにより、概ね目標は達成していますが、さらに広く周知し、多くの方に来館していただくことが課題です。	見直し内容 チラシ配布先を増やすなど、広報活動の充実を図り、さらに広く周知することに努めます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象 (誰を、何を)	目指す状態 (どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	多くの市民	市民からご寄贈いただいた戦時下の資料を保管・展示することにより、風化しつつある戦争がもたらした惨禍と平和の尊さを理解していただき、二度と同じ過ちを繰り返さないよう次の世代に伝えていくことができる状態を目指します。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	戦時資料展示コーナー見学者数		4,000 人	%	
	平成25年度までに最終目標に設定していた4,000人には安定的に達成していないため、平成28年度まで最終目標と設定しました。 (最終目標と目標年度) 4,000人 H28年度			%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	夏休みの機会を利用して、戦争の悲惨さや平和の尊さを学んでもらえるよう、市内の全小学校6年生児童、市内中学校に戦時資料展示コーナーの案内チラシを配布します。また区役所や市民センターを通じたチラシの配布を行うとともに、新たにチラシ配布の協力依頼をするなど、広報に努めます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	市民への広報活動件数		箇所・校 358	%	
	見学者の増加に向けて、小中学校や区役所、市民センターに案内チラシを配布するなど、さまざまな機会を捉えて広報活動を実施します。			%	
				%	

【Check】評価 (分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	安全・安心都市整備

課長名	松本
-----	----

施策番号

Ⅲ - 1 - (1) - ④

<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()

課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.40 人 (人件費備考)
--

事業概要			
事業名	モラル・マナーアップ関連条例推進事業		
事業概要	4つの迷惑行為をなくすために人が多く集まる中心市街地や観光拠点である小倉・黒崎地区を迷惑行為防止重点地区に指定し、過料の適用を実施しています。また、条例周知のための広報や路面表示等の環境整備等を実施しています。		
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
事業費	30,500 千円		人件費
			目安の金額
			6,150 千円

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	小倉都心地区、黒崎副都心地区ともに、過料適用件数(1日平均)が減少しており、今後もこの状態を継続していく必要があります。	見直し内容	平成24年度の評価結果を受け、重点地区内の巡視方法を見直すとともに迷惑行為防止のための教育活動や地域活動が更に広がるよう取り組みを強化してまいります。
----	-------------------	--	-------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民	迷惑行為の発生を防止するため、重点地区において4つの迷惑行為を行った者に対して、過料の適用を行い、モラル・マナーの向上を行います。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	モラル・マナーアップ関連条例に基づく過料適用件数の削減(小倉都心地区、黒崎副都心地区) 条例に基づく過料適用と周知のための広報活動が進むことによって条例違反者の減少が予測されるため、過料適用開始時から小倉30%、黒崎20%削減を目標として取り組むこととしました。 (最終目標と目標年度)平成26年度 小倉都心地区30%削減、黒崎副都心地区20%削減 (最終目標と目標年度)		小倉30% 削減 黒崎20%	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	重点地区(小倉・黒崎地区)において、巡視活動を実施するとともに、路面表示、看板等の環境整備の充実や市政だより等の広報媒体の活用により、条例や重点地区についての広報・啓発を行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	迷惑行為防止重点地区での巡視・啓発回数 重点地区での迷惑行為を防止するために、巡視員による定期的な巡視・啓発活動に取り組めます。		月平均15 日以上	%	
	迷惑行為防止重点地区の取り組みに関する広域的な広報・啓発回数 迷惑行為を防止するために、街頭での広報活動や市政広報物、新聞、テレビ・ラジオ等を通じた広報活動に取り組めます。		36 回	%	

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	文化振興課
課長名	西山
施策番号	
Ⅲ - 2 - (1) - ②	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	
課長	0.20 人
係長	0.50 人
職員	0.50 人

事業概要					
事業名	文化財保存補助				
事業概要	伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承します。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
	1,097 千円	千円			11,050 千円

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	限られた予算の中で、市内の指定無形文化財の保存・継承を行っていくことが課題です。そのような状況下でも、引き続き保存団体と協議し、各々の動向を注意深く見ていきたいと考えています。	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-weight: bold; margin-right: 5px;">見直し内容</div> <p>平成26年度予算は前年度予算に比べ縮減となっていますが、引き続き市内の指定無形文化財の保存・継承に努めます。</p> </div>

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 市内の伝統文化	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承します。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	指定無形民俗文化財保存支援団体数				
	指定無形民俗文化財の保存団体が行う保存・継承活動を支援します。 (最終目標と目標年度)26年度 17団体		17 団体	%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	無形民俗文化財は、地域住民の熱意と努力により大切に守られてきたものであり、市の大切な「たから」として保存・継承していきます。市の支援は有効な手段であり、引き続き現行の補助金を継続していきます。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	指定無形民俗文化財の保護		保存団体と時機に応じて適切に協議します。		
	指定無形民俗文化財を保護するため、保存団体と時機に応じて適切に協議します。			%	
				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	文化振興課
課長名	西山
施策番号	
Ⅲ - 2 - (2) - ①	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
課長	0.05 人
係長	0.17 人
職員	0.17 人

事業概要				
事業名	芸術文化活性化事業			
	事業概要 【劇場・創造事業】北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施します。 【響ホール・創造事業】響ホールからの発信を意識した、オリジナリティのある演奏会を実施します。			
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
		170,389 千円	千円	
		目金の金額	課長	0.05 人
		3,550 千円	係長	0.17 人
			職員	0.17 人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	各事業は共に質の高いオリジナル公演のため、本市の文化・芸術を牽引する発信力の高い事業です。そのため、経済性や効率性を考慮しつつも、今後も全国への情報発信とまちの魅力アップにつながるようなプログラムの充実に努める必要があります。	見直し内容 芸術劇場及び響ホールの特性を活かしながら、芸術性の高い創造事業を推進します。また、実施にあたっては経済性や効率性も考慮に入れながら、効果的な事業となるよう工夫します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	芸術劇場及び響ホールの創造事業	【芸術劇場・創造事業】芸術劇場の創造事業は、質の高い独自の舞台作品を全国にアピールするとともに、舞台芸術創造の発信拠点となることを目指します。 【響ホール・創造事業】響ホール事業の中の響ホール創造事業は、オリジナリティある企画公演を提供し、響ホールから高レベルの音楽文化を発信することを目指します。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	北九州芸術劇場・自主事業入場率					
	北九州芸術劇場は、オリジナルの演劇作品等を制作し、公演しています。指定管理業務における自主事業入場率の目標値を設定します。 (最終目標と目標年度)80% 平成26年度		80 %		%	
	響ホール・創造事業入場率					
音楽専用ホールとしての響ホールの特性を生かしたオリジナリティのある企画を公演しています。指定管理者における自主事業入場率の目標値を設定します。 (最終目標と目標年度)60% 平成26年度		65 %		%		

活動計画	どうやって目的を達成するか	【劇場・創造事業】北九州芸術劇場のプロデュース作品をはじめ、国内で活躍するアーティスト・カンパニーや国内の拠点劇場との共同制作作品など、高いレベルでの作品づくりに取り組み、全国に情報発信を行います。 【響ホール・創造事業】新規性と独創性に富んだオリジナリティのある公演を企画し、提供することで、ホール自体の価値を高め、響ホールから高レベルの音楽文化を発信します。また、内容のあり方についての方策を検討しています。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由	
	北九州芸術劇場・創造事業の実施					
	北九州芸術劇場でオリジナルの演劇作品等を制作し、公演します。		オリジナルの演劇作品の制作		%	
	響ホール・創造事業の実施					
音楽専用ホールとしての響ホールの特性を生かしたオリジナリティのある企画を公演します。			オリジナリティのある企画の公演		%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	文化振興課
課長名	西山
施策番号	
Ⅲ - 2 - (2) - ①	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要						
事業名	北九州国際音楽祭					
事業概要	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うものです。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、25年度で26回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着しています。					
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額
		40,000 千円	千円			課長 0.05 人 係長 0.06 人 職員 0.06 人
(人件費備考)						

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	平成24年度の来場者満足度が若干減少しているため工夫が必要であると考えています。また、経済性や効率性を意識した取り組みの継続が今後も課題です。	企画の内容や実施方法をより充実させ、満足度のアップを目指します。また、経済性や効率性を意識した取り組みを今後も進めます。
		見直し内容	

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) 地域の音楽文化	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) ①「総合音楽祭」の確立、②芸術性の追求・発信、③“北九州らしさ”の創造、④顧客満足度の向上、⑤若者世代の取り込み、⑥情報発信の強化を掲げ、国内トップクラスの音楽祭の実現を目指し地域の音楽文化の向上を図ります。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由	
	北九州国際音楽祭の満足度の割合					
	来場者のコンサートの満足度の割合を指標とし、これまでの実績を参考に、85%を目標とします。 (最終目標と目標年度)85% 平成26年度			85 %	%	
	(最終目標と目標年度)				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	国内外で活躍中の旬のアーティストの招聘、北九州オリジナル企画の充実、若年層を対象とした鑑賞事業などバラエティに富んだプログラムで質の高い国際レベルのコンサートを実施します。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由	
	北九州国際音楽祭の入場者数					
	本事業のプログラム①有料プログラム、②教育プログラム、③特別プログラム、④協賛事業の入場者数を指標とし、これまでの実績を参考に指標を設定します。			11,500 人	%	
	(最終目標と目標年度)				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	文化政策課
課長名	用田
施策番号	
Ⅲ - 2 - (2) - ②	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
()	

事業概要					
事業名	芸術文化育成負担金・補助金				
事業概要	本市の文化水準の向上及び地域文化の振興を推進することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、市が予算の範囲内において助成を行う事業です。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		40,450 千円	千円		目安の金額
					課長 0.05 人 係長 0.30 人 職員 0.30 人
					(人件費備考)

【Action】改善		
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 市民レベルでの文化芸術活動の支援・促進を図ります。	見直し内容 継続して、事業規模の再検討、補助金のみには頼らない協賛拡大など運営体制の指導を行います。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 芸術文化関係者	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 芸術文化に関係する団体の事業を補助することで、広く文化芸術に親しむことの出来る環境をつくり、本市の文化芸術の育成を図ります。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	各種文化イベントの実施		本市の文化水準の向上や個性ある地域文化の振興、市民の芸術文化活動促進	%	
	積極的に文化活動を展開している文化団体等へ助成を行い、文化祭や定期演奏会等のコンサートなどを実施し、本市の文化水準の向上や個性ある地域文化の振興、市民の芸術文化活動促進を図ります。 (最終目標と目標年度)			%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	本市の文化水準の向上や個性ある地域文化の振興、市民の文化芸術活動促進のため積極的に文化活動を展開している文化団体等へ助成を行います。あわせて、より効果的な文化芸術活動の支援のあり方についても検討を行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)
	芸術文化育成負担金・補助金交付団体数		16 団体	%
	市民の文化芸術活動の促進を図るための補助金を交付する団体数を指標とします。			%
	(最終目標と目標年度)			%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	文化振興課
課長名	西山
施策番号	
Ⅲ - 2 - (2) - ②	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	北九州市文化振興基金				
事業概要	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として設置された北九州市文化振興基金運用果実により、市民の行う芸術・文化活動等に対し助成を行います。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		12,288 千円	千円		目安の金額
					課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.30 人
(人件費備考)					

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	市民の自主的な文化・芸術活動を支援する事業であるため、政策的に助成件数を増加させるものではありませんが、一定の応募が継続するよう取り組みを継続します。	見直し内容 今後も一定の応募が継続し、地域の文化水準の向上と振興に資することが出来るよう周知を行うとともに、効果的な助成となるよう努めます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) 市民の行う文化・芸術活動等	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 本事業は文化振興への寄附金等の運用益を原資とし、市民の自主的な芸術・文化活動に対する助成や、資力のない児童に対する奨学金の交付などを実施し、本市の芸術・文化活動の更なる活性化を目指します。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	北九州市文化振興基金奨励事業の補助件数		25 件			
	地域文化の裾野を支える市民の自主的な芸術・文化活動に対し、事業補助金を交付します。 (最終目標と目標年度)平成26年度 20件				%	
	(最終目標と目標年度)				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	半年に一度(上半期、下半期の2回)、北九州市文化振興基金奨励事業の募集を行います。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	北九州市文化振興基金奨励事業の募集実施回数		2 回		
	半年に一度(上半期、下半期の2回)、北九州市文化振興基金奨励事業の募集を行います。			%	
				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	美術館普及課
課長名	中尾
施策番号	
Ⅲ - 2 - (2) - ③	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他

事業概要						
事業名	美術館企画展充実事業					
事業概要	美術館本館及び分館において、多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進します。					
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額
		118,543 千円	千円			課長 0.25 人 係長 0.65 人 職員 3.05 人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	来館者については、増加傾向にあるものの、引続き目標入場者数300,000人に向けて、幅広い作品の展覧会を開催し、多くの市民が美術作品に触れる機会を創出します。	見直し内容 厳しい財政事業を踏まえ、開催経費やその他の経費を精査したうえで、気軽に楽しめる美術作品や世界的な美術作品など幅広い作品の展覧会やテーマを明確としたコレクション展を開催し、多くの市民の来館を目指します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 市民、芸術文化活動をしている人など	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 市民が日常生活の中で多様な芸術・文化に接し、豊かな感性の育成と教育文化の向上を目指します。 芸術・文化活動をしている人たちに発表や交流の機会を提供します。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	美術館の入館者数		300,000 人		
	入館者数は、魅力ある展覧会を開催するうえで最も分りやすい指標です。 (最終目標と目標年度) 年間300,000人 平成26年度			%	
	コレクション展の観覧者数		50,000 人		
コレクション展は、学芸員が美術館の所蔵作品を利用して市民や子供たちのために自主企画する展覧会で、美術館単独での成果指標になります。 (最終目標と目標年度) 50,000人 26年度			%		

活動計画	どうやって目的を達成するか 収蔵作品及び作家についての研究を含め、テーマ性のあるコレクション展や気軽に楽しめる美術作品や世界的な美術作品など幅広い作品を展示した企画展を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	
	展覧会の開催回数		70 回	
	幅広い作品の展覧会を開催し、多くの市民の来館を目指します。			%
	コレクション展のテーマ件数		5 回	
	美術館所蔵の作品を有効に活用して、テーマ性のある魅力的な展覧会を開催します。		%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	自然史・歴史博物館普及課
課長名	栗原
施策番号	
Ⅲ - 2 - (2) - ③	
■ 直営 □ 補助金 □ 全部委託 □ 負担金 □ 一部委託 □ 指定管理 □ その他 ()	

事業概要					
事業名	博物館企画展・特別展充実事業				
事業概要	企画展・特別展は、特定のテーマを設けて自然史や歴史に関する展示を行うことによって、市民が楽しく学べる場を提供し、本市の学術文化の発展を図るものです。 (平成26年度特別展) ・春の特別展「まるごと猫展」(3月15日～6月1日)、・夏の特別展「巨大! 生物展」(7月19日～9月23日)、・秋の特別展「メタルズ」(11月1日～12月23日)、・冬の特別展「博物館新収蔵品展」(1月14日～2月22日)、・春の特別展「鉱物の魅力」(3月14日～5月6日)				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目安の金額	課長 1.40 人
	49,600 千円	千円		74,600 千円	係長 1.80 人 職員 5.40 人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	特別展の開催は集客効果が高いことから、年4回の開催予定ですが、開催経費の確保及び縮減を図ることが課題となっています。	見直し内容 冬の特別展を収蔵品により開催することで、開催コストの縮減を図ります。他の特別展についても、補助金や出資金の獲得を図ることで、コスト縮減を目指します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	博物館利用者及び市民	「いのちのたび」をコンセプトとして、歴史、考古、自然科学等に関する資料の収集・保管、研究により、本市の学術文化の発展に資することを目的とします。また、企画展・特別展の魅力向上を図るとともに、併せて実施する「普及講座」の充実に資し、地域の賑わいの拠点施設をめざします。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	博物館総入館者数		430,000 人			
	常設展・特別展に加え、普及講座等の開催により、より多くの方に博物館に來館していただくことで、本市の文化発展に資することとします。 (最終目標と目標年度) 平成28年度 430,000人				%	
	(最終目標と目標年度)				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	市民や子どもたちの自然や歴史に対する関心を育み応える場として、①年4回にわたる四季折々な特別展の開催、②ポケットミュージアムの展示更新、③博物館の様々な専門分野の学芸員による各種講演会や室内講座、野外観察会の開催等に取組みます。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由	
	特別展の入館者数		150,000 人			
	市民の興味関心を呼ぶ、魅力あふれる特別展(年4回程度)を開催し、市民の自然や歴史に対する関心を一層高めます。				%	
	教育普及講座の実施回数		60 回		%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	文化振興課
課長名	西山
施策番号	
Ⅲ - 2 - (2) - ④	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	芸術文化体験事業				
事業概要	通常の演奏会や公演の鑑賞ではなく、様々な形で子どもたちが身近に芸術文化を体験できるように、地元文化団体等が企画した芸術体験プログラム(ワークショップ等)を夏休み期間中に集中的に実施し、親子で芸術文化を楽しむ機会の拡充に努めます。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		4,738 千円	千円		目金の金額
					課長 0.05 人 係長 0.17 人 職員 0.17 人
(人件費備考)					

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	低コストで高い効果が得られるよう工夫を継続していく必要があると考えています。	見直し内容 低コストで事業が実施できるよう外部委託等を継続して検討していきます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
小中学校	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市内の子どもたち(小中学生)	文化体験を通して、子どもたちの豊かな情操を養うとともに、芸術文化に対する関心を高め、未来の文化の担い手として育成します。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	子ども文化ふれあいフェスタ参加者人数					
	子どもたちの豊かな情操を養うため、地元文化団体等が企画した子ども文化ふれあいフェスタへの参加者人数を指標とします。		680 人		%	
	(最終目標と目標年度)680人 平成26年度				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	8月下旬に文化団体等が企画したワークショップを実施し、芸術文化に対する関心を高めます。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由	
	子ども文化ふれあいフェスタ実施回数					
	子どもたちの豊かな情操を養うため、地元文化団体等が企画した子ども文化ふれあいフェスタへの参加者人数を指標とします。		1 回		%	
					%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	文化振興課
課長名	西山
施策番号	
Ⅲ - 2 - (2) - ④	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
課長	0.10 人
係長	0.70 人
職員	0.90 人
(人件費備考)	

事業概要				
事業名	現代美術センター・CCA北九州支援事業			
事業概要	CCA北九州は、現代美術の世界的な拠点のひとつとなることを目指して活動している研究・学習機関です。国内外から集まる現代美術の若手アーティスト等の指導育成、招聘アーティストによる新作発表のための展覧会、国内外の第一線で活躍する学芸員による「キュレーターミーティング」を開催するとともに、CCA北九州のネットワークを活かして、その活動を広く市民に浸透させるための市民美術大学美術講座、子ども向けワークショップなどの事業を行っています。			
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	
	52,308 千円	千円	人件費	目安の金額
			14,900 千円	課長 0.10 人 係長 0.70 人 職員 0.90 人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	リサーチプログラムにおいては、募集期間の拡大やキュレーター等の分野の受け入れを増やすなど一定レベルの受講生の確保に努めます。また子ども対象プログラムでは地域との協力をを行いながら充実したプログラムの実施に努めます。
	リサーチプログラムにおいて、海外からの受講生の中には経済情勢等の理由により参加を取りやめるケースが増えているため、確実な受講生の確保が課題です。		

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 若手アーティスト等 地域の子ども	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) リサーチ・プログラムでは、世界のアートシーンで活躍しうる人材育成を目指し、CCA北九州の評価と認知度を高めます。また、地域の子どもを対象としたワークショップでは、CCAの持つ専門性やネットワークを活かし、本市の芸術文化の担い手として育成することを目的とします。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) リサーチプログラムの受講者数	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	国内外の若手アーティスト等が本市に滞在しながら自身の制作活動を進めるプログラムであり、世界に通用する人材育成を目指しています。今後はさらにプログラムを充実させていきます。 (最終目標と目標年度) 6名程度 平成26年度		6 人	%	
	子ども対象プログラム参加者数 鋭い感性や創造性を子どもたちが備えていくことは、本市の未来にとっても大切な人的投資であると考えます。CCAの専門性とネットワークを活かし、子どもの参加者の拡大と質の高いプログラム実施を心がけていきます。 (最終目標と目標年度) 20名程度 平成26年度		20 人	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 今年度も引き続き、リサーチプログラムの充実を図り、北九州から世界に通用するアーティスト等を育成していきます。また、子ども対象プログラムでは、感性豊かな子どもたちの創造力を引き出し、クリエイティブな人材育成を図るためのワークショップを実施します。これらのプログラムの多くは市からの補助金で実施されています。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) リサーチプログラム受講生の活動及び発表回数	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	世界の第一線で活躍するアーティスト等を講師として招聘し、受講生はレクチャーを受けていますがその成果を発表する場(展覧会等)を一層充実させていきます。		2 回	%	
				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	文化振興課
課長名	西山
施策番号	
Ⅲ - 2 - (2) - ④	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	北九州市子どもノンフィクション文学賞				
事業概要	「ノンフィクション」というジャンルの作文を書くことで、子どもたちが人間や社会への関心をもつ契機となり、思考能力や人間としての成長を促すことを目的に、平成21年度に全国の小中学生を対象に創設した文学賞です。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		11,000 千円	千円		目安の金額
					課長 0.05 人 係長 0.30 人 職員 0.30 人
(人件費備考)					

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	平成21年度創設で、まだ歴史の浅い文学賞なので、応募数は変動的で応募地域も各年度でばらつきがあります。特に、平成24年度は市内からの応募数が目標値の7割と少なく、今後も引き続き、市内・外に向けて、当文学賞の認知度を高めるための積極的なPR活動が必要と考えます。	見直し内容
			本市主催の文学賞なので、市内の子ども達の育成にも目を向け、市内からの応募割合を指標として、引き続き積極的にPRして、認知度を高めていきます。

【Plan】計画			【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) 未来を担う子どもたち	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) ノンフィクション作品を書くという体験を通じて、人間・社会への関心や思考力を高めながら成長していく契機とします。 また、将来本市より芥川賞、直木賞を受賞するような未来の作家を数多く輩出することを目指します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	北九州市子どもノンフィクション文学賞への市内からの応募割合	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	
	子どもたちが自身の体験を通して、ノンフィクション分野の文学にふれる機会となる「北九州市子どもノンフィクション文学賞」への応募総数における市内からの応募割合を指標とします。 (最終目標と目標年度) 50% 平成26年度		50 %	%	成果の状況 評価理由
	北九州市子どもノンフィクション文学賞応募全国ブロック数		ブ 17 ロ ク ク	%	
	全国規模での事業展開状況が分かる指標として九州以外の全国を8ブロックに分け、九州8県と海外応募を含めて17ブロックとし、指標とします。 (最終目標と目標年度)17ブロック 平成26年度			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	年1回の「北九州市子どもノンフィクション文学賞」作品募集を継続します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	
	「北九州市子どもノンフィクション文学賞」作品募集における的を絞った広報		効果的な全国・北九州地域での広報	%	活動の状況 評価理由
	費用対効果の面から広報媒体を厳選しつつ、全国及び市内向けの効果的な広報を行います。			%	
				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	文化政策課
課長名	用田
施策番号	
Ⅲ - 2 - (2) - ④	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要						
事業名	(仮称)林芙美子文学賞事業					
	事業概要 北九州出身であり、「放浪記」、「浮雲」などの作品で知られ、特に短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞です。多くの文学者、作家を輩出した北九州市の豊かな文化的土壌を全国に発信するとともに、北九州市文化振興計画の重要な柱である「人材育成」に寄与することを目的とします。					
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.05人
	16,000千円	千円			5,825千円	係長 0.30人 職員 0.30人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 新文学賞が全国的に認知されるため、効果的な広報を行うなど、話題性を喚起できるよう事業を実施することが課題です。	見直し内容	-

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民	平成26年度に創設される「林芙美子文学賞」を実施し、本市の文学的土壌を全国に発信するとともに本市の文化芸術の人材育成を図ります。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	「(仮称)林芙美子文学賞」作品応募数		400件	%	
	広く作品を募り、受賞作を著名な文芸誌に掲載することで、新たな文学の才能を世に送り出します。受賞が文壇への足がかりになるような文学賞を目指すことから、全国からの応募数を指標とします(26年度目標は、自分史文学賞の実績を基に設定)。 (最終目標と目標年度) ※次年度以降、初回実績に応じて目標を設定します。			%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 平成26年度を初回とし、「林芙美子文学賞」作品募集を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	話題性を喚起できるような「林芙美子文学賞」の広報		効果的な全国・北九州地域での広報
	費用対効果の面から広報媒体を厳選しつつも効果的な全国広報、北九州地域での広報を行います。		
	(最終目標と目標年度)		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	漫画ミュージアム
課長名	川副
施策番号	
Ⅲ - 2 - (2) - ⑤	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	北九州市漫画ミュージアム普及事業				
事業概要	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指します。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		57,063 千円	千円		目安の金額
					課長 1.00 人 係長 1.00 人 職員 3.00 人
(人件費備考)					

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	活動状況については、来館者数が目標に達成したことなどから順調に推移しています。今後も事業効果は維持しながら経費節減の可能性について検討を続ける必要があります。	見直し内容 館のみの事業実施だけでなく、あるあるCityや他の施設・機関との連携、協力を推進し、課題への対応を図ります。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象 (誰を、何を)	目指す状態 (どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民や国内外からの利用者	様々な漫画の魅力が幅広い世代に伝わり、多くの人へ漫画文化が普及するとともに館を含めた周辺地域への集客、にぎわいがある状態を目指します。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由	
	来館者年間10万人					
	年間10万人の来館者を目指し、小倉駅新幹線口のにぎわいづくりに寄与します。 (最終目標と目標年度) 漫画文化の普及・平成26年度		100,000 人		%	
	(最終目標と目標年度)				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	魅力的な企画展やワークショップ、イベントなどを開催し、目標入館者の確保に努めます。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由	
	企画展の開催回数					
	漫画やアニメなど、魅力ある様々な企画展を開催し、集客を図ります。		5 回		%	
	ワークショップの開催回数 漫画文化に親しみ、将来の漫画家を目指す人材を育てるため、漫画の描き方などを教える漫画スクールや漫画等に関連したワークショップを開催します。(月4回程度を予定)		48 回		%	

【Check】評価 (分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	スポーツ振興課
課長名	正代
施策番号	
Ⅲ - 2 - (3) - ①	
■ 直営	<input type="checkbox"/> 補助金
<input type="checkbox"/> 全部委託	■ 負担金
<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理
<input type="checkbox"/> その他	()

事業概要					
事業名	市民体育祭				
	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催します。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額
	9,000 千円	千円			課長 0.10 人 係長 0.20 人 職員 0.20 人

【Action】改善

課題	H24年度の評価結果を受けての課題	活動状況については、競技数が目標に達成したことなどから着実に事業が進められ順調に推移しています。今後も事業効果は維持しながら経費節減の可能性について検討を続ける必要があります。	見直し内容	昨年度は国の助成金活用について検討・実施しました。今後も事業効果は維持しながら経費節減の可能性について検討を続けます。
----	-------------------	--	-------	---

【Plan】計画

【Do】実施 → 【Check】評価

目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)	成果の状況	代表的な成果指標
	市民	市民参加型のスポーツイベントを開催し、多くの市民に参加いただくことで、市民のスポーツに対する興味・関心を高め、生涯にわたりスポーツに取り組み、健康で充実した生活を送ろうとする気持ちを高めます。		市民体育祭選手参加者数
代表的な成果指標		指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標
		市民のスポーツに対する興味・関心を高め、スポーツへの取組状況が表れている同スポーツイベントへの選手参加者数を指標とします。 (最終目標と目標年度) 平成32年度 30,000人		30,000 人
		(最終目標と目標年度)		26年度実績(達成率)
				%
				成果の状況評価理由

活動計画	どうやって目的を達成するか	競技団体等へ多くの市民が参加できるよう競技の円滑な運営を行ってもらうとともに、市民が参加しやすい内容になるように協力を依頼します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標		指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標
		市民体育祭競技数		90 種目
		多くの市民がイベントに参加できるよう競技団体等の協力の下、競技数の確保・増加を行います。		26年度実績(達成率)
				%
				%
				活動の状況評価理由

【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	スポーツ振興課
課長名	正代
施策番号	
Ⅲ - 2 - (3) - ①	
■ 直営	<input type="checkbox"/> 補助金
<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 負担金
<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理
■ その他	
(スポーツ推進委員との協働)	

事業概要					
事業名	生涯スポーツ振興事業				
	市民への生涯スポーツ振興・普及のため、各区においてスポーツ教室、交流大会、ニュースポーツ体験会などを開催します。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額
	20,800 千円				990 千円
				課長 0.01 人	(人件費備考)
				係長 0.05 人	
				職員 0.05 人	

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	活動状況については、競技者数が目標に達成したことなどから着実に事業が進められ順調に推移しています。今後も事業効果は維持しながら経費節減の可能性について検討を続ける必要があります。	見直し内容
		昨年度は国の助成金活用について検討・実施しました。今後も事業効果は維持しながら経費節減の可能性について検討を続けます。	

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民	市民参加型のスポーツイベントを開催し、多くの市民に参加いただくことで、市民のスポーツに対する興味・関心を高め、生涯にわたりスポーツに取り組み、健康で充実した生活を送ろうとする気持ちを高めます。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	各区におけるニュースポーツ及びファミリースポーツ大会等の参加人数		12,000 人		
	本事業予算は、各区におけるスポーツ大会開催に係る審判謝礼金や用具代など大会運営を支える経費であり大会参加人数を指標とします。 (最終目標と目標年度) 平成32年度 12,000人			%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	各区において、地域スポーツの普及振興を図るため各種スポーツの開催やニュースポーツの用具、備品整備を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)
	各区におけるスポーツ行事の開催数		100 回	
	市民の機会創出を図るため、各区において行われる各種スポーツ大会開催数の確保・増加を図ります。			%
	(最終目標と目標年度)			%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	スポーツ振興課

事業概要								
事業名	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業					課長名	正代	
						施策番号		Ⅲ - 2 - (3) - ①
事業概要	総合型地域スポーツクラブは、人々が身近な地域でスポーツに親しむことのできるスポーツクラブです。多世代、多種目、多志向を特徴とし地域住民等により自主・主体的に運営される総合型地域スポーツクラブは、これからの地域スポーツの中核をなすものであり、この果たす役割は大きいことから総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組みます。					事業手法	<input type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 補助金
							<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 負担金
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.05 人	
		3,859 千円				2,325 千円	係長 0.10 人	
							職員 0.10 人	(人件費備考)

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	本市における成人の週1回のスポーツ実施率の向上のためにも、総合型地域スポーツクラブの果たす役割は大きいことから当該クラブの会員数拡大を目指すとともに、事業効果は維持しながら経費節減の可能性についての検討が必要です。	見直し内容 今後も事業効果は維持しながら経費節減の可能性について検討を続けます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民	総合型地域スポーツクラブの会員数拡大による本市における成人の週1回のスポーツ実施率の向上を目指します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	総合型地域スポーツクラブの会員数		2,500 人	%	
	スポーツをする人、支える人など市民のスポーツへの関わりが表れている総合型地域スポーツクラブの会員数を成果指標とします。 (最終目標と目標年度) 平成32年度までに4,000人				%
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	総合型地域スポーツクラブの会員数増加のためには、市民にとってクラブへの入会を魅力あるものにする必要があります。広報・PR強化のみではなくクラブの質の向上を図るため、交流事業や勉強会を定期的に開催し、指導者の充実やクラブを円滑・安定的に運営できる人材の育成等に努めます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	総合型地域スポーツクラブのPR強化及び交流事業等の開催		交流事業・勉強会等の実施	%	
	「総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」を通じて、交流行事や勉強会を開催します。			%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	スポーツ振興課
課長名	正代
施策番号	
Ⅲ - 2 - (3) - ①	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他

事業概要					
事業名	夢・スポーツ振興事業				
事業概要	2020年の東京オリンピックの開催を踏まえ、国際・全国大会で活躍する選手を育成するため選手個々の能力を高める事業を実施します。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		4,100 千円			
				目金の金額	課長 0.02 人 係長 0.24 人 職員 0.49 人
				5,630 千円	(人件費備考)

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	オリンピックなどの大きな大会で地元の選手が活躍する姿を見ることは市民に夢や感動をあたえるとともに、市民がスポーツに取り組む機会や元気なまちづくりの推進に繋がる契機となることから、国際・全国大会に出場する市民を多く輩出するための取り組みが必要です。	見直し内容

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	
	市民	市民からオリンピックなどの国際・全国大会で活躍する選手が多く輩出されることで、スポーツを通じた元気なまちづくりを推進します。		代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	選手強化事業(スポーツ教室・強化講習会など)参加者数		500 人	%	
	「選手強化事業」は、スポーツの競技力向上により市民からオリンピック選手などの国際・全国大会で活躍する選手の輩出につながるものであるため、同事業参加者数を指標とします。				
(最終目標と目標年度) 平成32年度 500人		人	%		

活動計画	どうやって目的を達成するか	競技団体の協力を得て、競技力を強化するスポーツ教室や強化講習会等を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	強化講習会等の実施		教室・強化講習会等実施	%	
	競技団体の協力を得て、競技力を強化するスポーツ教室や強化講習会等を実施します。				
			%		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	スポーツ振興課
課長名	正代
施策番号	
Ⅲ - 2 - (3) - ②	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
()	
(人件費備考)	

事業概要						
事業名	ギラヴァンツ北九州支援事業					
事業概要	本市唯一のプロスポーツチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助しています。					
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
		60,000 千円	千円			課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.20 人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	ギラヴァンツ北九州の認知度も順調に伸びており、概ね順調に推移しています。しかし、チームが地域に根ざし、真に市民に愛されるチームとなるよう更なる支援が必要だと考えています。	見直し内容 引き続き、ギラヴァンツ北九州が市民の誇りとなるよう事業を継続していきます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) ギラヴァンツ北九州	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 本市唯一のプロスポーツチームである「ギラヴァンツ北九州」が、市民の一体感を高め、誇りや愛着を持てるシンボルとなり、真に市民に愛されるチームとなることを目指します。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	ギラヴァンツ北九州の市民認知度				
	チームの認知度は愛着感を高めるために重要であると考え設定しました。 (最終目標と目標年度)平成28年度90%以上		90 %	%	
	ギラヴァンツ北九州主催試合の平均入場者数				
	より多くの市民に実際に試合を見ていただくことがチームの認知度や愛着感を高めるために重要であると考え設定しました。最終目標はJ2の平均以上としました。 (最終目標と目標年度)平成28年度6,500人以上(H24年度J2平均6,423人)		4,000 人	%	

活動計画	どうやって目的を達成するか ホームゲームを安全かつ安定的に開催することにより、来場された方に試合を楽しんでいただくことで、チームを応援する雰囲気醸成します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)
	ホームゲームの円滑な開催			
	ホームゲームを事故なく開催するとともに、観戦環境を整え、来場者にスポーツを観戦する楽しさを感じていただきます。		来場者に対するホスピタリティの向上	%
				%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	スポーツ振興課
課長名	正代
施策番号	
Ⅲ - 2 - (3) - ②	
■ 直営	<input type="checkbox"/> 補助金
<input type="checkbox"/> 全部委託	■ 負担金
■ 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理
<input type="checkbox"/> その他	()

事業概要					
事業名	ホームタウン推進事業				
	本市をホームタウン・準ホームタウンとする、「ギラヴァンツ北九州」や「堺プレイザーズ」「福岡ソフトバンクホークス」の市民観戦事業や、体験教室の開催など、市民がスポーツに親しむきっかけ作りを実施します。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	目金の金額	課長 0.05人
	64,450 千円	千円		6,575 千円	係長 0.15人 職員 0.60人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	成果指標であるスポーツ観戦率が、目標年度までに40%以上となるよう更に向上させる取り組みが必要であると考えています。	見直し内容 プロスポーツ観戦機会の充実のため、継続して観戦招待事業等の実施が必要であると考えています。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民	競技レベルの高いプロスポーツや国際的・全国的スポーツ大会などを「みる」機会の充実を図ることにより、市民の一体感の醸成や青少年の健全育成等を目指す。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	スポーツ観戦率		25%			
	競技レベルの高いプロスポーツの試合を「みる」機会の充実を図る指標として欠かさないため設定しました。最終目標は、北九州市スポーツ振興計画の目標である40%以上としました。 (最終目標と目標年度)平成32年度までに40%以上				%	
	(最終目標と目標年度)				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	本市をホームタウンとする「ギラヴァンツ北九州」をはじめ、準ホームタウンとする「堺プレイザーズ」等のスポーツチームの試合観戦事業等を実施します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	ギラヴァンツ北九州市民招待事業等による観戦者数		17,300 人		
	ギラヴァンツ北九州のホームゲームを「みる」機会を創出し、スポーツ観戦のきっかけ作りとします。			%	
	堺プレイザーズ親子招待事業による観戦者数		400 人		%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	スポーツ振興課
課長名	村上
施策番号	
Ⅲ - 2 - (3) - ③	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(PFI 事業)	
(人件費備考)	

事業概要				
事業名	スタジアム整備事業			
事業概要	都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、Jリーグやラグビートップリーグなどの試合に加え、コンサートの開催や小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンドゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放など、幅広い市民利用に活用し、市民に夢と感動を提供できるスタジアムを整備するものです。			
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)
		1,177,000 千円	千円	
			人件費	目安の金額
				課長 1.00 人
				係長 1.00 人
				職員 1.00 人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	市民に夢と感動を与える『見るスポーツ』の機会提供として、スポーツイベント・プロスポーツの誘致を行うための受け皿となる高規格・大規模な体育施設の整備が必要です。また、コンサートの開催など多目的な利用を図り、街のにぎわいづくりに寄与する施設として整備を行います。	見直し内容

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民	スタジアムの整備により市民が夢と感動を覚え、人が集いにぎわいあふれる北九州市を創出します。				
代表的な成果指標		25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	「見るスポーツ」の機会提供の充実(平成25年2月公共事業評価(事前評価2)における目標値)					
	市民がサッカーやラグビーなど「見るスポーツ」を楽しみ、夢や感動を覚える機会を充実させるために、開催する試合など利用日数を指標とします。(最終目標と目標年度)供用開始後、年間57日程度のグラウンド利用		-		%	
	Jリーグ観戦試合の平均入場者数(平成25年2月公共事業評価(事前評価2)における目標値)					
	多くの市民に「見るスポーツ」の機会を提供するとともに、都心部に人が集い、街のにぎわいを創出することを目指していることから、Jリーグ観戦試合の平均入場者数を指標とします。(最終目標と目標年度)供用開始後、1試合平均7,000人の入場者数		-		%	

活動計画				活動の状況	
活動計画	どうやって目的を達成するか	H21年度から事業を開始し、H22年度に基本方針を公表して以来、市民への説明・意見交換会を継続的に実施してきました。H23～25年度には大規模事業の公共事業評価(事前評価)を2回実施し、事業進捗に応じH24年度に整備方針、H25年度に事業計画を策定しました。今後、H28年度中の完成を目指し、H26年度は、PFI事業者の選定・契約を行い、設計に着手するとともに、前面道路の移設工事等を実施します。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載)(上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	スタジアム整備事業				
	H28年度中の完成を目指し、事業の進捗率を指標とします(事業費ベース)。		13 %		%
					%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	スポーツ振興課
課長名	喜洲
施策番号	
Ⅲ - 2 - (3) - ③	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要						
事業名	戸畑D街区スポーツ施設整備事業					
事業概要	戸畑区内に点在し老朽化したスポーツ施設を、戸畑区役所横の浅生小学校等跡地(D街区)に集約整備します。					
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
		482,120 千円	千円			19,450 千円
						課長 0.30 人 係長 1.00 人 職員 0.80 人

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	順調に事業進捗しています。	見直し内容 順調に事業が進捗しているため、今後とも計画通り事業を進めていきます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	市民	目指す状態 (どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 戸畑区役所周辺地区内のD街区において、戸畑区内に点在し老朽化したスポーツ施設を集約し、市のスポーツ拠点として体育館、武道場、テニスコート、室内温水プールなどを整備します。これにより、効率的な運営を進めるとともに、スポーツ環境の充実を目指し、市民の健康増進や地域の活性化を図っていきます。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標		25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	年間施設利用者数				
	集約整備後の施設利用者数を成果指標とします。(平成24年度における戸畑区内の現状施設の利用者数: 約140,000人)		-	%	
	(最終目標と目標年度) 平成30年度 190,000人				
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 平成26年度からの建築工事着手に向けて、平成22年度から地元や関係者に事業について説明会を行っており、平成24年度は基本設計を策定しました。平成25年度は、基本設計の概要などについて再度地元関係者に説明を行うとともに、実施設計や建物解体工事を行っています。			活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明) 戸畑D街区スポーツ施設整備事業の進捗率 平成28年度の完成を目指し、事業の進捗率を指標とします。	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
			22 %	%	
				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	地域振興課
課長名	杉本
施策番号	
Ⅲ - 3 - (1) - ①	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
()	
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	地域総括補助金				
	各 地 域 団 体 が 連 携 ・ 協 力 し、 ま ち づ け 協 議 会 を 中 心 に 地 域 が 一 体 と な っ た 地 域 づ け り を 促 進 す る た め、 こ れ ま で 市 各 部 局 が 事 業 ご と に 地 域 団 体 に 交 付 し て い た 補 助 金 を 可 能 な 限 り 一 本 化 し、 ま ち づ け 協 議 会 に 交 付 し ま す。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		395,213 千円			
		目安の金額		課長 0.05 人	
		3,825 千円		係長 0.10 人	
				職員 0.30 人	

【Action】改善					
課題	H24年度の 評価結果 を受けて の課題	まちづくり協議会へ地域総括補助金導入の働きかけを行い、導入数は徐々に増加しているものの、「体制が整わない」等の理由で導入を見送られているところもあり、当初の計画からやや遅れています。	見直し内容	引き続き、区役所コミュニティ支援課との連携を強化し、未導入団体への積極的な働きかけを行うとともに、申請方法の簡素化、流用が進まない理由や、他に加えることのできる補助金がないのかの洗い出しを行い、その改善策等を検討するなどして、まちづくり協議会がこの補助金をもっと使いやすくなるような「制度の見直し」を進めます。	

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	まちづくり協議会	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会が、この補助金を原資に活発に活動し、地域が一体となった住民主体の地域づくり・まちづくりを自主的に行えるようになることを目指します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	地域総括補助金を導入したまちづくり協議会数				
	地域総括補助金制度を導入し、これを原資に自主的な地域づくり・まちづくりの活動を行ったまちづくり協議会の数を指標とします。 (最終目標と目標年度) 平成30年度 136団体	団体	136 団体	%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	区役所コミュニティ支援課と連携し、未導入団体への積極的な働きかけを行うとともに、申請方法の簡素化、流用が進まない理由や、他に加えることのできる補助金がないのかの洗い出しを行い、その改善策等を検討するなどして、まちづくり協議会がこの補助金をもっと使いやすくなるような「制度の見直し」を進めます。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	地域総括補助金未導入まちづくり協議会(8団体)への働きかけ				
	地域総括補助金制度を導入していないまちづくり協議会(8団体)に対し、各区役所コミュニティ支援課が継続的に制度の説明等、働きかけを行います。	団体	8 団体	%	
				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

P D C A チェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	地域振興課
課長名	杉本
施策番号	
Ⅲ - 3 - (1) - ①	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
()	
(人件費備考)	

事業概要							
事業名	住民主体の地域づくりの促進						
	住民が参加するワークショップの開催などを通じて地域情報や課題解決のアイデア等を盛り込んだ「地域カルテ」の作成や「地域カルテ」に基づく新たな課題解決を図る活動を支援すること等により、住民主体の地域づくりを促進します。						
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考) 地域コミュニティ活性化推進事業、 (新)地域のちから向上支援事業	人件費	目金の金額	課長 0.05 人 係長 0.15 人 職員 0.20 人
		10,055 千円				3,575 千円	

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	地域カルテづくり事業を通して、様々な地域活動の取り組みに向けての気運が高まっています。しかし、新たな活動に取り組めない地域もあります。	見直し内容 新たに地域カルテフォローアップ事業を実施し、課題解決のための取り組みを支援します。また、地域カルテづくり事業については、実施の働きかけを各区役所コミュニティ支援課との連携を強化しながら行います。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	まちづくり協議会	地域カルテを通じて、住民による地域の課題や地域資源の共有化、課題解決のための処方箋づくりを進めるとともに、それに基づく、新たな地域課題解決に向けた取組みを支援し、住民主体の地域づくりを促進します。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	住民主体の新たな地域づくりが活発に行われている状態					
	市は、まちづくり協議会が地域課題の解決のための活動を、主体的に行えるようなきっかけ作りや側面的な支援は行いますが、地域がかかえる課題や、その解決に向けた取組みの内容は様々であり、指標として具体的に数値化することはできません。 (最終目標と目標年度)			-	%	
	(最終目標と目標年度)				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	まちづくり協議会に事業の趣旨等を説明し、事業実施の働きかけを行います。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由	
	カルテ事業実施についてのまちづくり協議会への働きかけ					
	地域カルテづくりについて、まちづくり協議会に対し、区役所コミュニティ支援課と連携し、継続的に事業実施の働きかけを行います。			7 団体	%	
	地域カルテフォローアップ事業に取り組んだまちづくり協議会数			10 団体	%	
これまで地域カルテづくり事業に取り組んだまちづくり協議会のうち、「地域カルテ」に基づく新たな活動を実施するまちづくり協議会の数を指標とします。						

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	地域振興課
課長名	杉本
施策番号	
Ⅲ - 3 - (1) - ②	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	市民センターの充実				
事業概要	市民センターの管理運営を円滑・適正に行うため、公募により多様な人材を市民センター館長として採用し、地域の活動を担うまちづくり協議会への管理委託などを行います。また、市民センターを拠点とした地域づくりを推進するため、未整備校区に市民(サブ)センターを整備し、老朽化対策やバリアフリー化を図り計画的な改修を行います。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		2,055,974 千円	千円		51,250 千円
				目金の金額	課長 1.00 人 係長 1.50 人 職員 3.30 人
(人件費備考)					

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	これまでの取り組みにより、市民センターの利用者数は、順調に増加していますが、今後は、市民センターを利用した地域ごとの課題解決に向けた取り組みに、より多くの人に参加してもらうことが必要です。	見直し内容 市民センターの事業や地域の活動について、タイムリーな情報発信に努めます。また、市民センターの機能向上は地域活動促進に有効であるため、今後も計画的に大規模改修等を実施します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	地域住民	市民センターを拠点とした地域活動を活性化させるため、市民センターの安全性や利便性の向上を図り、より多くの地域住民が活動に参加し、コミュニティ活動を活発に行っている状態を目指します。			
代表的な成果指標	指標	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)				
	市民センター1館当たりの利用者数		42 千人	%	
	市民センター1館当たりの年間利用者数。1館当たりの利用者は、コミュニティ施設としての市民センターの利用度を計る指標となるため、成果指標としました。 (最終目標と目標年度)				
市民センターにおけるコミュニティ活動の参加人数(延べ)		1,955 千人		%	
市民センター全館におけるコミュニティ活動参加者の合計人数。市民センターにおける様々な活動のうち、コミュニティ活動の参加人数は地域活動の状況を把握する目安となるため、指標としました。 (最終目標と目標年度)					

活動計画	どうやって目的を達成するか	市民センターの利用者増加に向けて、館長及び市民センター職員の能力向上を図る研修を行うとともに、更なる情報発信に努めます。また、老朽化が進んだ市民センターについては、耐震化や施設機能の向上を図るための大規模改修を計画的に行います。市民サブセンターの設置については、地元との合意が得られたところから順次整備をします。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)				
	ホームページを毎月1回以上更新している市民センターの館数		129 館	%	
	市民センターの事業や地域の活動などの様々な情報をタイムリーに発信するために、ホームページによる広報活動を充実させます。				
市民センター整備の進捗状況				%	
本年度は、新設設計1館、大規模改修にかかる工事2館及び設計3館、空調改修工事2館、サブセンター整備工事1館の実施を予定しており、年度末までに全ての完了を目指します。					

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	地域振興課
課長名	杉本
施策番号	
Ⅲ - 3 - (1) - ③	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
()	
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	自治会・町内会活性化の促進				
	自治会と連携しながら、加入率向上や組織・活動の見直し及び人材育成など新たな課題への対応につながる様々な事業に取り組み、自治会・町内会の活性化を図ります。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		33,790 千円	千円		
		目安の金額	課長	0.03 人	
		4,095 千円	係長	0.30 人	
			職員	0.10 人	

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	地域づくり活動への貢献意識や参加の割合は高いものの、自治会加入世帯が減少し、活動への参加者が少なくなるなど、自治会の活性化に繋がっていません。	見直し内容 これまで地域づくり活動に参加していない人の参加のきっかけづくりのため、企業退職予定者向けの地域活動テキストの作成を行うとともに、加入促進活動を支援する補助事業を実施します。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	住民	住民の自治会への理解が深まり、活動に積極的に参加する等、自治会活動が活発化する状態を目指します。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	地域づくり活動へ肯定的な考えの市民の割合(意識)		85 %	%	
	市民意識調査の「活動へ参加している人」と「機会があれば参加したいと考えている人」の割合を指標とします。高齢等で参加できない人を考慮し、85%を目指します。 (最終目標と目標年度) 平成27年度 85%				
	地域づくり活動への参加者の割合(行動)		46 %	%	
	市民意識調査の活動への参加率を指標とします。目標は、活動には概ね1世帯から1名が参加していること、1世帯あたりの人員が平均2.3人であることを踏まえて、全人口に対する参加者の割合46%を目指します。 (最終目標と目標年度) 平成27年度 46%				

活動計画	どうやって目的を達成するか	自治会・町内会が行う加入促進活動の取り組みを支援します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況 評価理由
	広報・研修等の事業数		14 事業	%	
	自治会活動の活性化及び自治会加入促進につながる広報・研修等の事業の数を指標とします。				
	地域コミュニティ強化支援事業に取り組んだ地域団体数		15 団体	%	
	この事業を活用して、地域コミュニティの強化に向けた活動に取り組んだ地域団体等の数を指標とします。				

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	市民活動推進課
課長名	神野
施策番号	
Ⅲ - 3 - (2) - ①	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	NPO・ボランティア活動促進事業				
事業概要	NPO・ボランティア活動等の市民活動促進や、市民活動団体等と行政の協働促進のため、市民活動や協働等に関する相談受付や情報提供、研修・啓発事業を行うとともに、コムシティのひとみらいプレイスの他施設と連携して、市民活動を担う人づくりを行います。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		12,675 千円	千円		目金の金額
					課長 0.30 人 係長 0.60 人 職員 1.50 人
(人件費備考)					

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	平成24年度まで順調に成果が上がっているため、これまでの方向で引き続き実施していきます。	見直し内容 これまで実施してきた事業の内容や実施方法のより一層の充実を図ります。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 市民及び市民活動団体等	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 地域の課題に自ら対応し、市民が自発的、主体的に公益活動に参画する市民社会の形成に向けて、まちづくりの重要な担い手であるNPOやボランティア団体などの活動を促進します。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	新規設立NPO法人数(累計)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況 評価理由
	市民活動団体を主体的に発足させた市民活動団体(NPO法人)数です。 (最終目標と目標年度) 28年度75法人		45 法人(累計)	%	
	NPOとの協働事業数		170 件	%	
	NPOの専門性や先駆性を生かし、行政と協働で事業を行った件数です。 (最終目標と目標年度)28年度190件				

【Check】評価(分析)				
活動計画	どうやって目的を達成するか 市民活動団体の発展段階別に応じたセミナーを開催し、内容を活動団体が実践につなげていきやすいものなどに見直します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	
	講座実施数		5 講座	
	これから市民活動に携わりたい市民への啓発や、市民活動に取り組む団体の組織や活動を強化するための講座を開催します。			%
	広報誌などの発行		12 回	%
	市民活動に取り組む団体等に、他団体の活動やイベント、助成金など、活動に役立つ情報を提供するため、広報誌やニュースレターを発行します。			

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	市民活動推進課
課長名	神野
施策番号	
Ⅲ - 3 - (2) - ①	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()
課長	0.10 人
係長	0.20 人
職員	0.20 人
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	NPO公益活動支援事業				
	市民活動のさらなる発展に寄与するため、NPO等が専門性を発揮して行う、意欲的で先進的な取り組みを支援します。また、あらかじめ市が設定したテーマに対して、NPO等から専門性を生かした提案を募集し、提案団体と市が協働して相乗効果を発揮しながら取り組む事業を支援します。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額
	4,439 千円	千円			4,650 千円

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	あらかじめ市が設定したテーマに対して、NPO等から専門性を生かした提案を募集して実施する「協働提案モデル事業」において、幅広いテーマ設定を行い、多様な分野について、募集が行えるようにする必要があります。	見直し内容 幅広いテーマ設定ができるように、行政職員に対し、協働についての理解の浸透を図ることに努めます。協働の成功事例の発信・広報を充実させていきます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民活動団体等	専門性を発揮して行う、意欲的かつ先進的な公益活動(地域の課題解決につながる活動や公共の福祉の向上に資する活動など)に対して助成を行うとともに、これらの活動事例を幅広く情報提供することなどを通して、本市における市民活動の更なる発展を図ります。				
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	NPO公益活動支援事業補助金の交付件数(累計)		件(累計)			
	市内全域を対象とするまちづくり活動、地域課題の解決につながる活動、市のイメージアップに寄与する活動に対する補助交付件数の累計を評価の指標とします。 (最終目標と目標年度) 28年度に補助事業累計件数が60件		48		%	
	成果発表会の参加人数 活動事例を幅広く情報提供することなどを通して本市における市民活動の更なる発展、NPOへの理解の浸透を図るため、成果発表会の参加人数を指標とします。 (最終目標と目標年度) 28年度に参加者累計人数が330人		230	人(累計)		%

活動計画	どうやって目的を達成するか	地域課題の解決につながるような先進的な取り組みなど、補助事業のモデルケースを成果発表会や市民活動サポートセンターのHPで広報・発信し、市民活動への理解の浸透に努めます。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由	
	補助事業のモデルケースの広報		2 回			
	地域課題の解決につながるような先進的な取り組みなど、補助事業のモデルケースを成果発表会(年1回)や市民活動サポートセンターのHP(当該事業については年1回更新)で広報・発信します。				%	
					%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	市民活動推進課
課長名	神野
施策番号	
Ⅲ - 3 - (2) - ②	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	
課長	0.03 人
係長	0.05 人
職員	0.05 人

事業概要					
事業名	まちづくりステップアップ事業				
事業概要	市民主体のまちづくりを推進するため、市民が主体的に取り組む地域の特性を活かした活動や地域の活性化に資する新たなまちづくり活動を支援します。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
	6,182 千円	千円			1,220 千円

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	補助対象事業の内容について、より地域の特性を活かした事業や、先進的な取り組み、地域の課題解決につながる取り組みが展開される必要があります。	見直し内容 各区での先進的な取り組みや、地域の課題解決につながった取り組みなど、成功事例を広く発信してモデルケース示すことで、成果の高い事業が展開されるよう努めます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) 市民活動団体等	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 市民が、地域の特性を活かして取り組む公益的な活動(地域住民の交流の促進に関する活動や子どもの健全育成・子育ての支援に関する事業など)に対して助成を行い、市民主体のまちづくりを推進します。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由	
	市民活動団体等に対する補助金交付件数(累計)		213 件 (累計)			
	地域に密着した市民活動団体等の活動を促進するため、こまめな支援を図る必要があります。市民活動団体等に対する補助金交付件数の累計を評価の指標とし、より多くの団体が市民活動に関わるきっかけづくりとなるような補助交付の実施に努めます。 (最終目標と目標年度) 平成28年度までに273件				%	
	(最終目標と目標年度)				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 市民が主体的に行う、地域の課題解決や活性化に資する活動を支援するため、区毎に活動申請を審査し、適切な支援を行っていきます。地域課題の解決につながるような先進的な取り組みなど、補助事業のモデルケースを市民活動サポートセンターのHPで広報・発信し、その活用を広く市民にお知らせします。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	
	市民活動団体等に対する補助事業実施回数		7 回	
	地域に密着した市民活動団体等の活動を促進するため、こまめな支援を図る必要があります。市内の7区全区で着実に補助事業を募集し、全ての地域で市民活動が活性化されるように努めます。			%
	補助事業のモデルケースの広報		2 回	%

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	市民活動推進課
課長名	神野
施策番号	
Ⅲ - 3 - (3) - ①	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業				
事業概要	職員を対象としたNPO等との協働についての理解を図るための研修や、NPO等を対象とした団体相互間の協働や行政・企業との協働に関する理解を深めるための研修を実施します。また、地域課題解決について、多様な主体が参加するワークショップを開催します。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		1,200 千円	千円		目金の金額
					課長 0.10 人 係長 0.10 人 職員 0.20 人
					3,650 千円
					(人件費備考)

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	協働のまちづくりを進めていくための理解を図る研修を実施していますが、都合がつかず参加できなかった方への学習機会の提供や、研修で学んだ知識の定着を図る必要があります。	見直し内容 研修内容、講演内容をサポートセンターHPに掲載するなど、周知・広報していくことで、参加できなかった方や、今後学んでいきたい方にも学習・スキルアップの機会を提供し、協働への理解の浸透を図ります。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象 (誰を、何を)	目指す状態 (どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市民活動団体等	多様化・複雑化する市民ニーズに対応しながら、更に質の高い市政運営を進めていくためには、行政とNPO・市民活動団体とのパートナーシップを積極的に推進し、協働して地域課題の解決に取り組むことが重要です。そのため、協働を進めるための環境づくりや意識醸成を図ります。				
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由	
	NPOとの協働についての研修への参加者数累計		人 (累計)			
	市民活動に対する理解を促進し、NPOとの協働に対して理解を深めるための研修への参加者の累計を評価の指標とします。		500		%	
	(最終目標と目標年度) 平成28年度までに参加者数700人					
	(最終目標と目標年度)			%		

活動計画	どうやって目的を達成するか	協働についての理解を広めるため、職員研修や市民向け研修を開催します。また、より良い協働事業の実現のため、協働事業の担当者や団体関係者との合同セミナーを開催し、協働推進に必要な人材の育成を図ります。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	セミナー開催数		2 回		
	活動指標として、協働理念の普及を推進するために実施するセミナーの開催数を評価の指標とします。			%	
				%	

【Check】評価 (分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	市民活動推進課
課長名	神野
施策番号	
Ⅲ - 3 - (3) - ②	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	NPO・ボランティア活動促進事業				
事業概要	NPO・ボランティア活動等の市民活動促進や、市民活動団体等と行政の協働促進のため、市民活動や協働等に関する相談受付や情報提供、研修・啓発事業を行うとともに、コミュニティのひとみらいプレイスの他施設と連携して、市民活動を担う人づくりを行います。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		12,675 千円	千円		目金の金額
					課長 0.30 人 係長 0.60 人 職員 1.50 人
(人件費備考)					

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	平成24年度まで順調に成果が上がっているため、これまでの方向で引き続き実施していきます。	見直し内容 これまで実施してきた事業の内容や実施方法のより一層の充実を図ります。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 市民及び市民活動団体等	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 地域の課題に自ら対応し、市民が自発的、主体的に公益活動に参画する市民社会の形成に向けて、まちづくりの重要な担い手であるNPOやボランティア団体などの活動を促進します。	成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
代表的な成果指標	新規設立NPO法人数(累計)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	市民活動団体を主体的に発足させた市民活動団体(NPO法人)数です。 (最終目標と目標年度) 28年度75法人		45 法人(累計)	%	
	NPOとの協働事業数		170 件		
	NPOの専門性や先駆性を生かし、行政と協働で事業を行った件数です。 (最終目標と目標年度)28年度190件			%	

【Check】評価(分析)			
活動計画	どうやって目的を達成するか 市民活動団体の発展段階別に応じたセミナーを開催し、内容を活動団体が実践につなげていきやすいものなどに見直します。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標
	講座実施数		5 講座
	これから市民活動に携わりたい市民への啓発や、市民活動に取り組む団体の組織や活動を強化するための講座を開催します。		
	広報誌などの発行		12 回
	市民活動に取り組む団体等に、他団体の活動やイベント、助成金など、活動に役立つ情報を提供するため、広報誌やニュースレターを発行します。		%

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	
	「経済性」 (同成果を低コストで) 「効率性」 (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	市民活動推進課
課長名	神野
施策番号	Ⅲ - 3 - (3) - ②
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業概要					
事業名	「NPOとの協働によるまちづくり」人材育成事業				
	職員を対象としたNPO等との協働についての理解を図るための研修や、NPO等を対象とした団体相互間の協働や行政・企業との協働に関する理解を深めるための研修を実施します。また、地域課題解決について、多様な主体が参加するワークショップを開催します。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目金の金額
	1,200 千円	千円			3,650 千円
				課長	0.10 人
				係長	0.10 人
				職員	0.20 人
(人件費備考)					

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	見直し内容	協働のまちづくりを進めていくための理解を図る研修を実施していますが、都合がつかず参加できなかった方への学習機会の提供や、研修で学んだ知識の定着を図る必要があります。
			研修内容、講演内容をサポートセンターHPに掲載するなど、周知・広報していくことで、参加できなかった方や、今後学んでいきたい方にも学習・スキルアップの機会を提供し、協働への理解の浸透を図ります。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象 (誰を、何を)	目指す状態 (どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民活動団体等	多様化・複雑化する市民ニーズに対応しながら、更に質の高い市政運営を進めていくためには、行政とNPO・市民活動団体とのパートナーシップを積極的に推進し、協働して地域課題の解決に取り組むことが重要です。そのため、協働を進めるための環境づくりや意識醸成を図ります。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	NPOとの協働についての研修への参加者数累計		人 (累計)		
	市民活動に対する理解を促進し、NPOとの協働に対して理解を深めるための研修への参加者の累計を評価の指標とします。		500	%	
	(最終目標と目標年度) 平成28年度までに参加者数700人				
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	協働についての理解を広めるため、職員研修や市民向け研修を開催します。また、より良い協働事業の実現のため、協働事業の担当者や関係者との合同セミナーを開催し、協働推進に必要な人材の育成を図ります。	活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	セミナー開催数		2 回		
	活動指標として、協働理念の普及を推進するために実施するセミナーの開催数を評価の指標とします。			%	
				%	

【Check】評価 (分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	市民活動推進課
課長名	神野
施策番号	
IV - 2 - (2) - ②	
事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ()	

事業概要					
事業名	持続可能なNPO育成モデル事業				
事業概要	少子高齢化の進行に伴い発生した様々な課題を解決する取り組みを、積極的に行うNPOが増えています。しかし、NPOの活動は無給のボランティアに支えられており、人件費を払える団体は非常に少なく、団体の存続、活動の継続に困難を抱えています。そこで、事業収入と寄付収入の両面から、NPOの持続可能な活動のための仕組みづくり(ソーシャルビジネス創出)を支援し、自立したNPO団体数の増加を図ります。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	
		2,000 千円	千円		
				目金の金額	課長 0.10 人 係長 0.10 人 職員 0.20 人
				3,650 千円	(人件費備考)

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題 多くのNPOは収入が少なく、活動を継続していくことが困難であると感じています。	見直し内容	

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を)	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民活動団体等	事業収入が安定し、活動が持続可能な状態になることを目指します。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	事業計画策定団体数(累計)		団体(累計)		
	事業計画作成研修やファンドレイジングセミナーの受講や、専門家の派遣を受けて、事業計画の策定に至った団体数の累計を指標とします。 (最終目標と目標年度) 平成28年度までに9団体		3	%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 事業計画作成やファンドレイジングなどの専門性の高い研修を実施し、NPOのレベルアップを図る機会を提供します。			活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	セミナー開催数		3 回		
	事業計画作成研修やファンドレイジングセミナーの開催数を活動の指標とします。		3	%	
	専門家を派遣した団体数 事業計画作成およびファンドレイジング専門家をNPOに派遣し、持続可能な仕組みづくりを支援します。		3	%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート(平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	文学館
課長名	米満
施策番号	
IV - 4 - (1) - ②	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	文学館普及研究費				
事業概要	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介し、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信していきます。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		20,452 千円	千円		目金の金額
					課長 0.50 人 係長 0.50 人 職員 0.25 人
					12,625 千円

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	目標には達しているものの、文学館がより多くの市民に親しまれる施設となるため、更なる入館者増が望まれます。	見直し内容 企画展のラインナップを見直し、文学館の本来目的である北九州ゆかりの文学者に関する自主企画展とともに、より集客効果の高い展覧会の開催に取り組みます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象(誰を、何を) 市民	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介し、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信することにより、大人から子どもまで文学に親しむ機会が拡大し、豊かな感性の育成と教養文化の向上に繋がります。		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由
	文学館企画展の入館者数		22,000 人		
	本市ゆかりの文学者や全国的に著名な作家などの展覧会のほか、文学に関連する企画展を充実させ、多くの方へ偉人・先人の業績を伝えます。 (最終目標と目標年度)			%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	より多くの市民に文学館の存在を知ってもらい、文学館に親しんでもらうため、文学館の本来目的である北九州ゆかりの文学者に関する自主企画展とともに、集客効果の高い(一般的な認知度と人気が高い)展覧会の開催に重点を置き、入館者数の増加に努めます。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	企画展等の開催回数		3 回		
	文学の振興、教育、普及とともに本市にゆかりのある文学者と文芸活動をより多くの市民に紹介する手段として、企画展などの開催件数を活動の指標としました。	回		%	
				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>

PDCAチェックシート(平成26年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	松本清張記念館
課長名	木村
施策番号	
IV - 4 - (1) - ②	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業概要					
事業名	松本清張記念館研究センター・普及事業				
事業概要	【研究センター事業】①松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業を行ないます。②松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を行ないます。③研究誌を発行します。 【普及事業】①企画展を開催します。(年2回) ②講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行ないます。				
コスト	事業費	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費
		12,958 千円	千円		目金の金額
					課長 0.50 人 係長 1.00 人 職員 1.00 人
(人件費備考)					

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	活動の状況としては順調です。今後も松本清張研究会の開催や研究誌の発行等により市内外への情報発信を図ることや、多様で新しい切り口で企画展等を開催することが課題です。	見直し内容 さらに効果的な情報発信や魅力的な企画展等の開催をめざして、新たな研究・企画に取り組みます。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価		
目的	対象(誰を、何を) 市内外	目指す状態(どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか) 松本清張記念館は、松本清張の多岐にわたる創作活動を企画展等で体系的に紹介し、清張とその時代の研究を行なうとともに、市内外に情報発信し、来館者の増加と本市のイメージアップを図ります。		成果の状況 代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	成果の状況評価理由	
	松本清張記念館の入館者数		60,000 人			
	平成21年度の生誕100年記念事業で大幅に増加した入館者数が22年度から減少し、横ばいの状況です。入館者増に向けてさらに魅力ある企画展等を開催し、入館者数の確保に努めます。 (最終目標と目標年度)60,000人 平成26年度			90 %	%	
	企画展入場者の満足度 来館者アンケートのうち企画展の内容についての設問で、「非常に良い」「良い」といった満足度の高い評価の割合を高めます。 (最終目標と目標年度)90% 平成26年度				%	

活動計画	どうやって目的を達成するか 開催した企画展の成果を分析し、新規入館者の増加及びリピート率の向上を図ります。さらに魅力的な企画展・特別展を開催します。			活動の状況 活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
活動指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績(達成率)	活動の状況評価理由
	企画展の開催回数		2 回		
	市民に質の高い作品などに接する機会を安定的に提供し、魅力ある企画展・特別展を開催します。			%	
				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点

PDCAチェックシート (平成 26 年度実績評価)

担当局	市民文化スポーツ局
担当課	市民活動推進課
課長名	神野
施策番号	
VI - 1 - (1) - ①	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	
課長	0.10 人
係長	0.20 人
職員	0.20 人

事業概要					
事業名	市民活動団体等による環境未来都市推進支援事業				
事業概要	北九州市環境未来都市計画では、「低炭素・省エネルギー社会の実現」「資源循環社会の推進」「少子高齢化社会に対応したまちづくりの推進」などが目標として掲げられています。この目標を達成するため、市民活動団体等の新しい発想や専門性を活かした提案を募集し、提案団体と市が協働して取り組む事業を支援することにより、協働の促進を図ります。				
コスト	26年度当初予算額	26年度執行額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
	5,000 千円	千円			4,650 千円

【Action】改善			
課題	H24年度の評価結果を受けての課題	団体から提案があったときに、協働のパートナーとなる事業課とのスムーズなマッチングが求められています。また、補助期間終了後の事業の継続性を高める工夫が必要です。	見直し内容 協働の成功事例を広く発信し、事業課とのマッチングに活かしていきます。また、補助期間終了後も団体の負担能力の範囲内で継続できる事業を目指すといった主旨から、補助限度額の見直しを行います。

【Plan】計画				【Do】実施 → 【Check】評価	
目的	対象 (誰を、何を)	目指す状態 (どのような状態にしたいか、どのような成果を実現したいか)		成果の状況	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	市民活動団体等	北九州市環境未来都市計画の目標の達成及び市民活動団体等と市の協働の促進を目指します。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	成果の状況 評価理由
	市民活動団体等に対する補助金交付事業の件数(累計)		件 (累計)		
	北九州市環境未来都市計画の目標の達成に向けた事業への補助交付件数の累積を評価の指標とします。		15		
	(最終目標と目標年度) 平成28年度までに23件			%	
	(最終目標と目標年度)			%	

活動計画	どうやって目的を達成するか	市民活動団体等及び行政内部に対して、市民活動団体等と市の協働についての理解の浸透を図ります。また、当事業の説明会開催、ホームページ・メールニュース・チラシなどにより、市内の市民活動団体等に広く周知を図ります。		活動の状況	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
活動指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	25年度実績	26年度目標	26年度実績 (達成率)	活動の状況 評価理由
	成果発表会及び市民活動団体等と行政との協働研修の参加人数		人 (累計)		
	市民活動団体等と行政との協働についての理解の浸透を図るため、事業実施団体による協働の成功事例についての成果発表会及び市民活動団体等と行政の協働研修を実施します。		300		
				%	
				%	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>